

平成 29 年

消 防 年 報



平成 30 年刊行

福知山市消防本部

は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び平成 29 年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

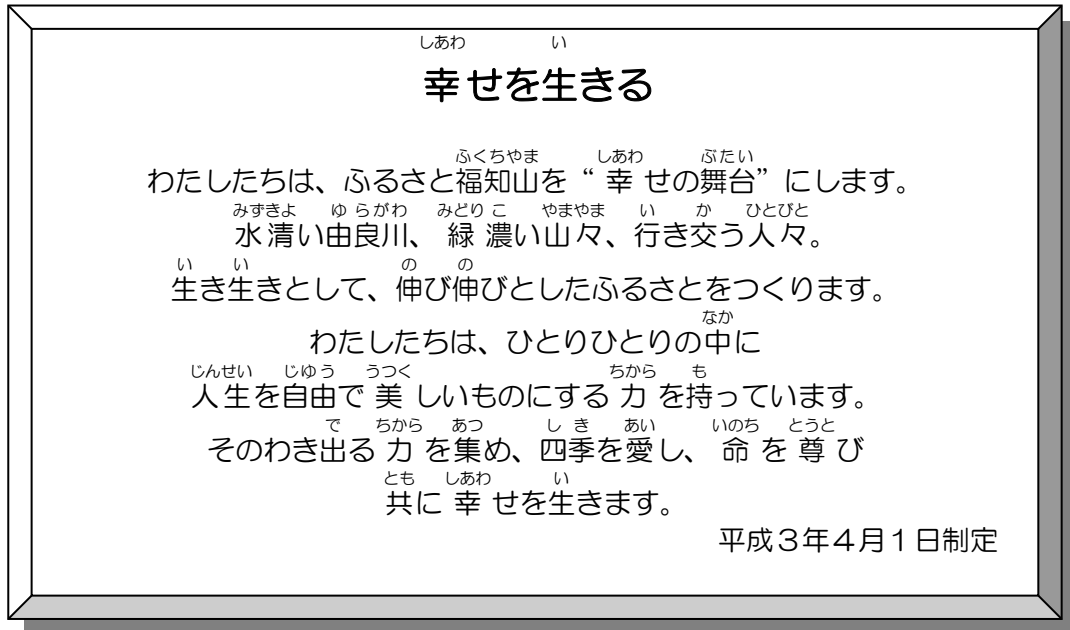
この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

平成 3 0 年 6 月

福知山市消防本部

福知山市市民憲章



市 民 憲 章 と は

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲 章 文 の 解 説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由で美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒にあって広げましょう。一人ひとりが家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

目 次

総 務

市 勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構	4
消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	12
消防職員の定員及び現在員数	13
消防職員階級別年齢状況、勤続年数	14
事務分掌	15
消防相互応援協定の締結状況	18

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	19
消防水利の状況	20
救助活動のための機械器具等の保有状況	21

統 計

火災概要	23
累年火災比較（10年間）	24
署・分署別火災発生状況	25
地区別火災発生状況1	26
地区別火災発生状況2	27
月別火災発生状況	28
火災発生状況グラフ	29
曜日・時間別火災発生状況	30
曜日・時間別火災発生状況グラフ	31
気象別火災発生状況	32
火災原因別調べ	33
救急概要	34
署・分署別救急出動状況・搬送人員グラフ	35
月別救急活動状況	36
時間別事故種別搬送人員	37
年齢区分別事故種別搬送人員	38
傷病程度別性別事故種別搬送人員	39
傷病程度別年齢区分搬送人員	39

救急講習実施状況	40
過去10年間における救急出動の推移	41
救助概要	42

予 防

防火対象物の状況	43
建築同意事務署・分署別件数	44
建築同意事務業態別棟別件数	44
消防用設備等検査状況	45
危険物施設の状況	46
危険物申請の状況	47
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	47
手数料徴収状況	47
火災予防条例等各種届出件数	48
立入検査実施状況	48
防火指導状況	49
広報活動状況	49
幼年消防クラブ活動状況	49
福知山市防災センター来館者状況	49

通信指令課

覚知別集計	50
月別指令状況	51
ドクターヘリ要請件数	51
消防通信指令施設の現況	52
消防通信指令系統図	53

消 防 団

消防団の沿革	54
消防団員・消防車両配置表	59
年齢別消防団員数	59
在職年数別消防団員数	59

水 防

水防の概要	60
水防組織	63

【総務】

市 勢

【位 置】

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、京都府の北西部に位置し、西は兵庫県と接し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあり、面積 552.54 k m²と京都府内では、京都市、南丹市に次いで 3 番目に広大な市域を有しています。

気候条件としては、日本海気候に属し、盆地特有の夏と冬・昼と夜の気温差が激しい気候となっています。

京都市と神戸市から直線で約 60km、大阪市からは約 70km の距離にあり、交通網の発展により京阪神へのアクセスも良好で、比較的日本海にも近い本市は、その地理的条件により、北近畿の交通の結節点となっています。

また、福知山駅および国道沿いに広がる市街地と、その周辺の農山村地域によって構成され、丹後天橋立大江山国定公園の大江山や三岳山などの山々、さらに由良川をはじめその支流である土師川、牧川、宮川などが流れており、整備された交通・都市基盤の美しい自然を兼ね備えています。

【沿 革】

福知山盆地には、古くは縄文時代から人が住んでいましたが、昭和 61 年広峯古墳群（古墳時代）から盤龍鏡が出土したことにより、古代において、出雲・丹後と畿内との接点に当たる福知山地方が、交通・文化などにおいて重要な位置を占めていたことがうかがえます。地理的には日本海と瀬戸内側を結ぶ中継地点として、歴史的には丹後・山陰と都を結ぶ主要街道の要衝として、山陰道の陸運の要所だけでなく由良川を通じて日本海沿岸ともつながる水運で栄えました。

天正 7 年（1579）年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀が福知山城を築き、関ヶ原の合戦後、有馬豊氏が城主となり城下町が整備され、以来、明治 4 年の廃藩置県まで 300 年近い間、江戸期を通じて城下町として繁栄しました。その当時の江戸時代のまち割りが今も残っています。

明治 22 年の町村制施行で福知山町が誕生し、同 31 年には陸軍歩兵第 20 連隊の駐屯が開始される一方、同 32 年大阪、同 43 年京都へとそれぞれ鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また“北近畿の商都＝商いのまち”として発展を遂げました。

戦後は、昭和 49 年に内陸工業団地として日本有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤を形成するとともに、JR 線や京都丹後鉄道宮福線の電化、舞鶴若狭自動車道や国道 9 号線土師バイパスの整備、また国道 175 号や国道 176 号など多くの国道が交わり、北近畿の交通の要衝とし機能がより高まっています。

一方、こうした広域交通体系の整備と並行して、昭和 29 年から土地区画整備事業や下水道事業、都市計画道路等の整備を先進的に取組んでおり、特に 21 世紀のまちづくりの核となる福知山駅周辺地域においては、新たな都市地区形成を図るため、駅付近連続立体交差事業や駅周辺土地区画整理事業を進めるなど、北近畿の玄関口として、恵まれた自然環境を生かしながら「北近畿をリードする中核都市」作りを目指し、交通・通信の拠点として積極的に都市基盤の充実を図ってき

ました。

平成 18 年 1 月 1 日に三和町、夜久野町及び大江町と合併、新しい「福知山市」がスタートして、恵まれた自然環境を生かしながら「未来創造福知山」多様性のあふれる高次機能都市の実現をめざして、北近畿の中核都市としてのまちづくりを進めています。

また、防災面では、『消防機能』のほか『市民防災研修機能』『災害対策機能』を併せ持つ消防防災の拠点施設『福知山市消防防災センター』を整備、平成 24 年 5 月 1 日より運用を開始しており、『いのちと暮らしを守るやすらぎのまち』を創るため、過去の災害を忘れず、市民のみなさんとともに災害に強いまちづくりを推進しています。

管内の情勢

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

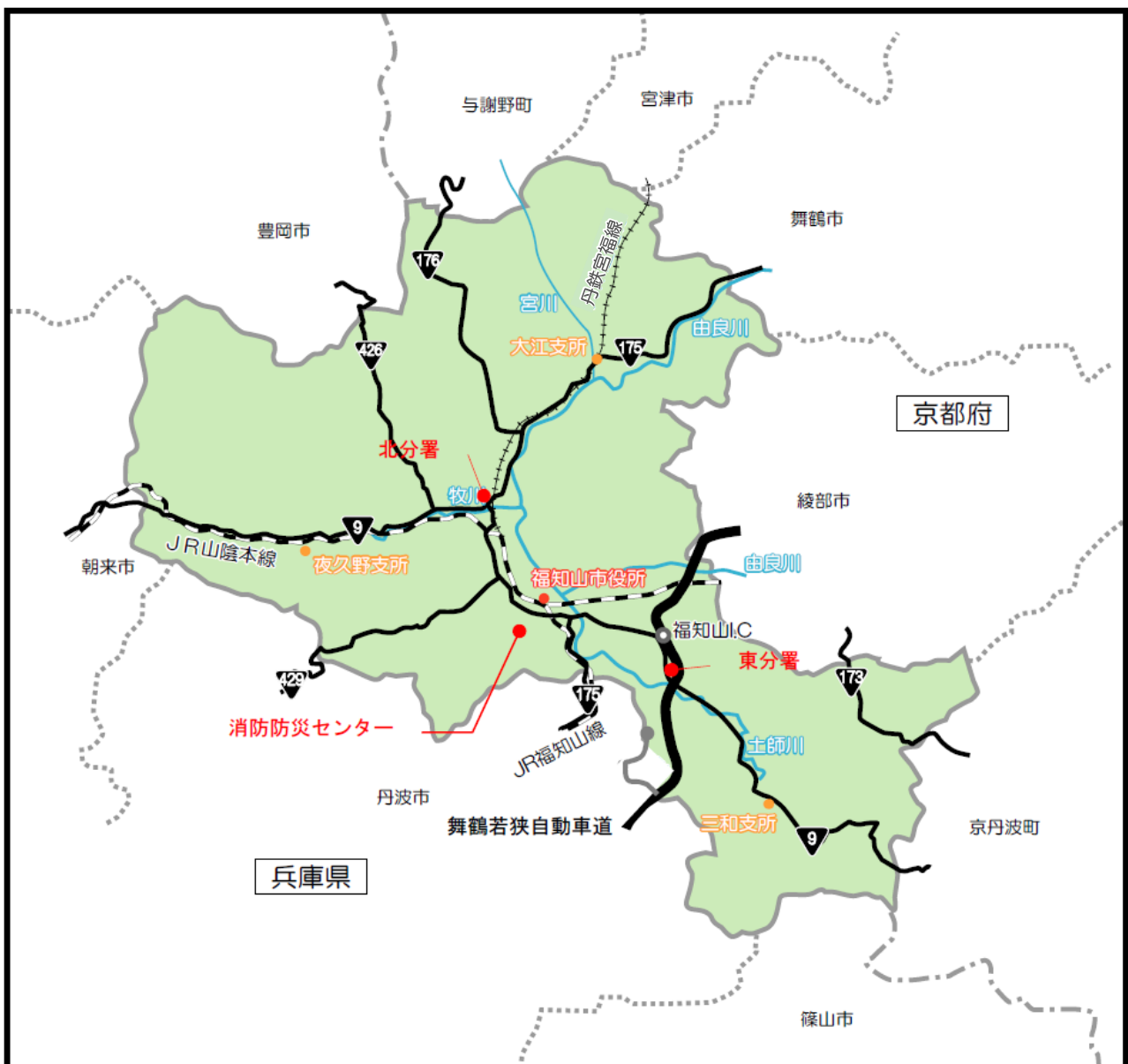
	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
福知山市	5 5 2 . 5 4	7 8 , 6 1 2	3 6 , 0 4 6
消防職員一人あたりの割合 (職員数 1 3 0 人)	4 . 2 5	6 0 4 . 7 1	2 7 7 . 2 8

周囲 (km)	広ぼう (km)		海拔 (m)		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135° 07′	35° 17′

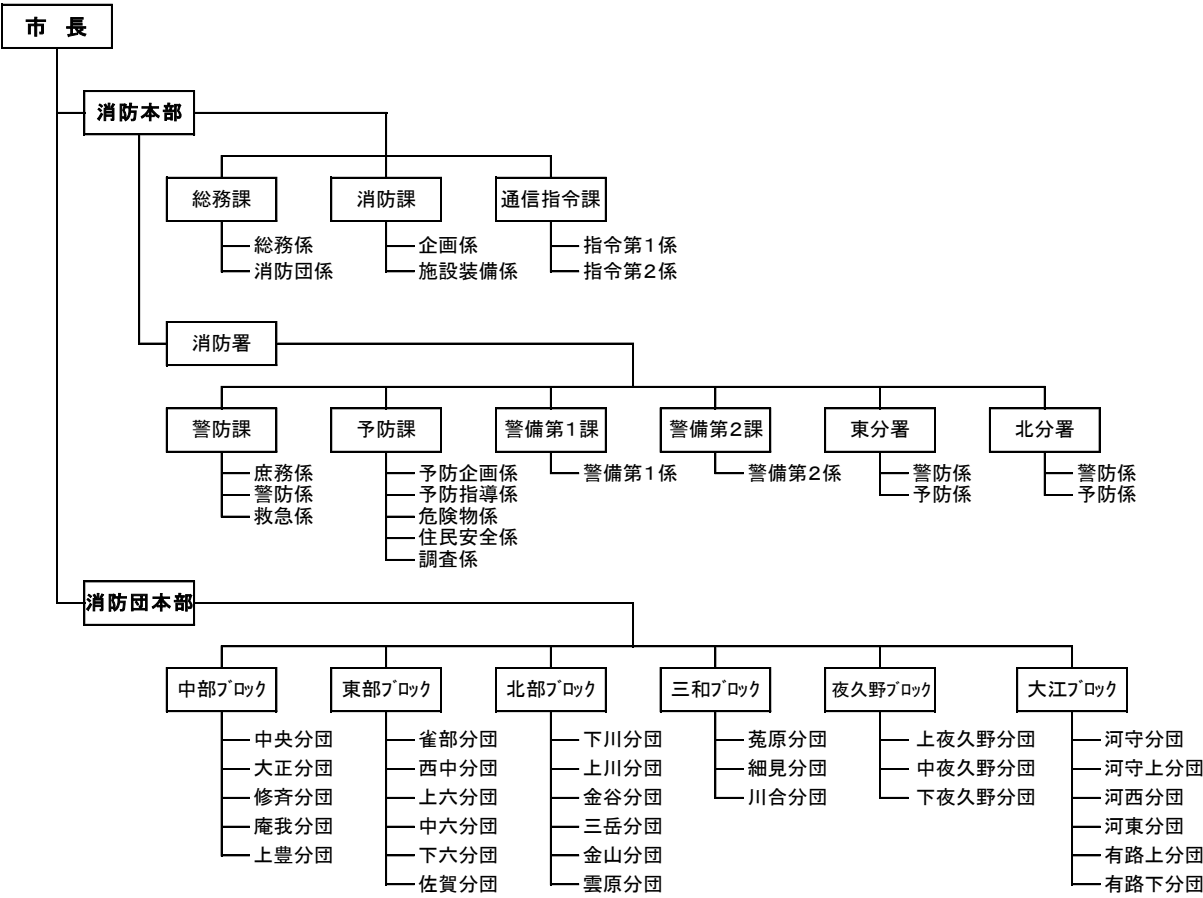
市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ カシ ヒノキ ウメ	サツキ キキョウ ハギ レンゲツツジ フジ	ウグイス キジ	ドッコちゃん  酒吞童子 

福知山市位置・管内案内図

面積	552.54 km ²
周囲	174.20 km
海拔	839.17 m (最高) 7.11 m (最低)
総人口	78,612人
世帯数	36,046世帯
(人口・世帯数は平成30年4月1日現在)	



消防機構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市東羽合町 46-1 福知山市 消防防災センター	庁舎棟 鉄骨造 2 階建 延 3, 109 m ²	25, 149 m ²	H24. 3	消防防災 訓練場
福知山消防署					
指令センター		訓練棟他 付属建物 延 1, 047 m ²			防災ヘリ ポート
防災センター					防災広場
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目 12-2	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 772. 82 m ²	25, 235 m ²	S56. 9	訓練場
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 473. 52 m ²	1, 710 m ²	S56. 9	訓練場

消防の沿革

(平成 30 年 4 月 1 日)

○昭和 23 年 1 月 6 日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける
〃 7 月 4 日	ポンプ車 2 台 定員 15 名 職員 4 名増員 実員 19 名
○昭和 24 年 5 月 31 日	職員 6 名増員 実員 25 名
〃 8 月 18 日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の 3 係を置く
〃 12 月 15 日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和 25 年 8 月 19 日	小牧大火 集落の 3 分の 1、16 戸全焼 (2,300 ㎡)、損害額 12,437 千円
〃 11 月 23 日	指令車 (トヨタクラウン) を購入配置
〃 12 月 20 日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車 2 台、普通ポンプ車 1 台
○昭和 26 年 4 月 11 日	職員 7 名増員 実員 32 名
○昭和 28 年 9 月 25 日	台風 13 号襲来 由良川水位 8.1m に達し市街地全域が水没し、死者 4 名、重軽傷者 788 名、家屋の流失 55 戸、家屋の全壊 428 戸、半壊 1,181 戸、床上浸水 3,641 戸 (内 2 階浸水 3,202 戸)、床下浸水 195 戸、その他被害総額 6,649,424 千円
○昭和 29 年 4 月 1 日	職員 2 名増員 実員 34 名
○昭和 30 年 4 月 1 日	消防本部に消防署を併設 1 署 3 係
〃 4 月 1 日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の 8 ヶ村合併により、面積 254.93k ㎡、人口約 61,000 人
○昭和 31 年 3 月 31 日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消 FM-1 型無線を配置
〃 9 月 30 日	佐賀村分村合併により、面積 264.24k ㎡、人口 63,220 人
○昭和 34 年 9 月 26 日	伊勢湾台風 由良川水位 7.1m に達し、重軽傷者 26 名、家屋の流失 4 戸、全壊 6 戸、半壊 103 戸、床上浸水 3,473 戸、床下浸水 1,644 戸、その他被害総額 1,164,566 千円
○昭和 35 年 3 月 5 日	普通ポンプ車を購入配置 (更新)
○昭和 36 年 9 月 16 日	第二室戸台風 瞬間最大風速 43m を記録し、死者 3 名、重軽傷者 6 名を出し、家屋の全壊 9 戸、半壊 67 戸、その他被害総額 162,482 千円
○昭和 37 年 5 月 8 日	内記五丁目大火 全焼 12 戸、半焼 3 戸、部分焼 6 戸、農機工場より出火、焼失面積 2,393 ㎡、損害額 23,911 千円
〃 5 月 8 日	技術吏員 1 名増員し、危険物規制事務開始 実員 35 名
〃 11 月 20 日	福知山市字天田小字中長戸 76 番地に、鉄筋コンクリート 2 階建庁舎を建設し業務を開始
〃 12 月 20 日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和 40 年 3 月 31 日	小牧大火 全焼 7 戸、部分焼 2 戸、焼失面積 782 ㎡、損害額 8,732 千円
○昭和 42 年 12 月 4 日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始 (救急車を購入配置) 職員 4 名増員 実員 39 名
○昭和 45 年 3 月 4 日	大槻内科医院より自動二輪車 4 台寄贈を受ける
〃 4 月 1 日	職員 1 名増員 実員 40 名

○昭和 45 年 11 月 13 日	大型ポンプ車を購入配置（更新）
○昭和 46 年 4 月 1 日	職員 3 名採用 実員 40 名
○昭和 47 年 3 月 15 日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和 48 年 10 月 1 日	職員 3 名増員 実員 43 名
〃 12 月 13 日	新町大火 全焼 13 戸、半焼 2 戸、部分焼 8 戸、リ災世帯 10 世帯、リ災人員 43 名、 焼失面積 1,929 m ² 、損害額 60,708 千円 消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
○昭和 49 年 2 月 13 日	内記六丁目大火 全焼 6 戸、半焼 1 戸、部分焼 1 戸、リ災世帯 8 世帯、リ災人員 35 名、死者 1 名、負傷者 2 名、焼失面積 730 m ² 、損害額 28,130 千円
〃 4 月 1 日	消防職員 7 名増員 実員 50 名
〃 5 月 10 日	日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける
〃 5 月 23 日	指令車（トヨタクラウン）を購入配置（更新）
〃 7 月 1 日	本部機構改革、2 課 5 係
○昭和 50 年 2 月 27 日	化学車（Ⅲ型）を購入配置
〃 4 月 1 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新） 消防職員 4 名増員 実員 54 名
○昭和 51 年 2 月 6 日	農協共済より救急車（２Ｂ）の寄贈を受ける
〃 5 月 13 日	内記四丁目大火 全焼 7 戸、部分焼 3 戸、リ災世帯 3 世帯、リ災人員 20 名、焼失 面積 1,267 m ² 、損害額 19,793 千円
〃 6 月 14 日	消防本部、団本部を新市庁舎へ移す
〃 7 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 55 名
○昭和 52 年 4 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 56 名
〃 7 月 19 日	指揮車（ニッサンセドリックバン）を購入配置
○昭和 53 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 56 名
〃 10 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 58 名
○昭和 54 年 3 月 26 日	原動機付自転車 2 台を購入配置
〃 3 月 31 日	福知山消防署庁舎改修
〃 8 月 1 日	林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和 55 年 1 月 23 日	普通消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置
〃 3 月 11 日	日本損害保険協会より救急自動車（３Ｂ）の寄贈を受ける
〃 8 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 58 名
○昭和 56 年 1 月 23 日	一市三町広域消防調印式挙行
〃 3 月 9 日	普通消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
〃 3 月 31 日	救急車を購入配置する
〃 4 月 1 日	一市三町広域消防体制発足（事務委託方式） 消防職員 21 名増員 実員 79 名
〃 9 月 11 日	福知山市長田野町三丁目 12 番地の 2 福知山消防署東分署庁舎完成 （ＲＣ造 2 階建延床面積 772.82 m ² ） 福知山市字牧 471 番地の 2 福知山消防署北分署庁舎完成 （ＲＣ造 2 階建延床面積 419.81 m ² ）
〃 9 月 21 日	日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置
〃 9 月 24 日	普通消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を 2 台購入、2 分署に配置

○昭和 56 年 9 月 30 日	広報車を購入し、東分署に配置
〃 10 月 1 日	2 分署開設し、業務開始（分署長以下 13 名×2 分署）
〃 11 月 20 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
〃 12 月 1 日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和 57 年 3 月 24 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 83 名
〃 12 月 11 日	はしご付消防ポンプ自動車（24m 級）を購入し消防署に配置
○昭和 58 年 3 月 31 日	小型動力ポンプ（Ｃ－Ⅰ級）を購入し、2 分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 85 名
〃 9 月 26 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）の寄贈を受ける
〃 9 月 29 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
○昭和 59 年 3 月 30 日	救助工作車を購入し、消防署に配置
〃 3 月 31 日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（２Ｂ型）を購入配置（更新）
〃 8 月 31 日	隣接 5 消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和 60 年 4 月 1 日	本部機構改正、3 係を置く 消防職員 4 名採用 実員 85 名
○昭和 61 年 3 月 4 日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型Ａ級）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 5 日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和 62 年 1 月 17 日	日本自動車工業会より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
〃 3 月 18 日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
〃 4 月 1 日	消防職員 5 名増員 実員 90 名
○昭和 63 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 91 名
〃 5 月 24 日	2 時 36 分 西中ノ町建物火災、3 時 50 分 駅前町建物火災（道草横町）、両火災で全焼 2 戸、半焼 5 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 23 名、焼失面積 709 m ² 、損害額 47,302 千円
〃 10 月 5 日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成元年 12 月 4 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型・４WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成 2 年 3 月 31 日	日本自動車工業会より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 91 名
〃 5 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 92 名
○平成 3 年 4 月 1 日	消防職員 4 名採用 実員 92 名
〃 6 月 25 日	ＪＲ福知山線「岡踏切」列車事故 重症者 3 名、中等症者 16 名、軽症者 290 名
〃 8 月 20 日	北京都信用金庫より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
○平成 4 年 2 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型Ａ級）を購入し、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 93 名
〃 10 月 16 日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
〃 11 月 25 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型・４WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 5 年 1 月 30 日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 94 名

平成 5 年	4 月 26 日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2 B 型）の寄贈を受ける
"	7 月 1 日	職員定員 104 名とする
"	9 月 1 日	烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
"	9 月 17 日	消防職員 4 名増員 実員 98 名
"	9 月 30 日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ 型）の寄贈を受ける
"	11 月 11 日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新）
"	11 月 11 日	消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 6 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 99 名
"	5 月 18 日	救急救命士 1 名資格取得
○平成 7 年	1 月 18 日	兵庫県南部地震による応援出動（～26 日）
"	1 月 23 日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
"	2 月 14 日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 2 名増員） 実員 101 名
"	5 月 12 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 2 名
○平成 8 年	1 月 22 日	消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ 型）を購入し、東分署に配置（更新）
"	3 月 11 日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
"	4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 101 名
"	4 月 30 日	本部・署機構改正 本部 2 係・署 2 課 1 室 6 係となる
"	5 月 17 日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
"	11 月 14 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 3 名
"	12 月 3 日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
"	12 月 3 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 4 名
○平成 9 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 102 名
"	5 月 19 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 5 名
"	5 月 26 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 6 名
"	10 月 12 日	自治体消防制度 50 周年、市制施行 60 周年記念行事（消防フェア福知山）開催
"	12 月 22 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 7 名
"	12 月 28 日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成 10 年	3 月 3 日	福知山市防災センター竣工
"	4 月 1 日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ 型）運用開始
"	4 月 1 日	消防無線第 2 市波運用開始
"	5 月 25 日	携帯電話からの 119 番通報受信体制整備（代表受信消防本部）
"	8 月 27 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 8 名
"	11 月 26 日	北分署改修工事着手
"	11 月 26 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 9 名
○平成 11 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 102 名
"	5 月 14 日	本部・署機構改正 本部 2 係・署 2 課 1 室 2 分署 12 係となる
"	7 月 1 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 10 名
"	12 月 8 日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
"	12 月 8 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 11 名
○平成 12 年	3 月 7 日	消防広報誌「火の用心」創刊
"	4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 102 名
"	5 月 16 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 12 名
○平成 13 年	1 月 22 日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
"	3 月 1 日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める

○平成 13 年 3 月 22 日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
〃 3 月 23 日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
〃 11 月 20 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 13 名
○平成 14 年 2 月 28 日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－Ａ型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 12 月 16 日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 15 年 4 月 1 日	消防職員 2 名（内 1 名救急救命士資格取得者）採用 実員 102 名 救急救命士 計 14 名
〃 12 月 1 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 16 年 2 月 23 日	第 1 回自主防火・防災リーダー養成講座実施
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 102 名 予防課に住民安全係を設置。本部 2 係、署 2 課 1 室 2 分署 13 係となる
〃 4 月 2 日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
〃 5 月 12 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 15 名
〃 9 月 11 日	「救急フェア」開催
〃 10 月 20 日	「台風 23 号災害」半壊・一部損壊 63 戸、浸水家屋 844 戸
〃 〃 21 日	被害額 4,421,498 千円。由良川水位 7.55m に達する
〃 11 月 13 日	ＩＰ電話（ケイオプティコム）からの 119 番通報受信開始
〃 11 月 26 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 16 名
○平成 17 年 2 月 14 日	ＩＰ電話（日本テレコム）からの 119 番通報受信開始
〃 3 月 29 日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 102 名
〃 5 月 12 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 17 名
〃 6 月 11 日	消防団緊急伝達システム 運用開始
〃 8 月 29 日	ＩＰ電話（平成電電）からの 119 番通報受信開始
〃 10 月 1 日	ＩＰ電話（ＫＤＤＩ）からの 119 番通報受信開始
○平成 18 年 1 月 1 日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
〃 1 月 10 日	ＩＰ電話（ＮＴＴ西日本）からの 119 番通報受信開始
〃 2 月 2 日	携帯電話 119 番通報 直接受信開始
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 104 名
〃 10 月 29 日	第 1 回自主防火・防災リーダー中級講座実施
〃 12 月 21 日	ＩＰ電話（平成電電）からの 119 番通報受信終了
○平成 19 年 2 月 1 日	消防ポンプ自動車（水槽付ＣＤ－Ⅰ型）を購入し、北分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 103 名
〃 4 月 1 日	予防技術資格者認定制度開始
〃 10 月 1 日	携帯電話・ＩＰ電話発信位置表示通知システム導入
〃 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催
○平成 20 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用 実員 104 名
〃 9 月 3 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 18 名
〃 11 月 8 日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成 21 年 3 月 23 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 104 名
〃 4 月 22 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 19 名
〃 4 月 24 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 20 名

○平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定数 130 名とする
" 4 月 13 日	消防職員 12 名採用 実員 110 名
" 4 月 17 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 21 名
" 5 月 11 日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航開始
" 6 月 1 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 22 名
" 10 月 14 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型）を購入し、東分署に配置（更新） 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受ける
○平成 23 年 3 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
" 3 月 11 日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～４月２日）
" 4 月 1 日	消防職員 8 名採用 実員 114 名 北分署機構改正。増員（分署長以下 22 名）、および昨年度寄贈の高規格救急自動車を配置し、救急 2 隊運用を開始する
○平成 24 年 3 月 29 日	福知山市東羽合町 46 番地の 1 に、鉄骨造 2 階建庁舎「福知山市消防防災センター」竣工
" 3 月 30 日	「福知山市防災広場」竣工
" 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 117 名
" 4 月 10 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 25 名
" 4 月 25 日	消防緊急通信指令施設を「高機能消防指令システム」に更新、運用開始
" 5 月 1 日	消防本部・消防署・消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1「福知山市消防防災センター」に移す 「福知山市消防防災センター」及び「福知山市防災広場」の運用開始
○平成 25 年 1 月 17 日	消防防災センター来館者が 1 万人に達する
" 3 月 6 日	総務省消防庁より緊急消防援助隊後方支援隊用車両として機動装備車の無償貸与を受ける
" 2 月 14 日	下紺屋町建物火災、全焼 6 棟、部分焼 6 棟、ぼや 1 棟、リ災人員 20 名、焼失面積 802 m ²
" 4 月 1 日	消防職員 10 名採用（内 6 名増員） 実員 123 名 救急救命士 実員 24 名 消防職員 1 名を京都府立消防学校教官として派遣する（2 年間）
" 8 月 15 日	福知山花火大会会場で火災事故発生 死者 3 名 負傷者 56 名
" 9 月 15 日	「台風 18 号災害」全壊 2 棟、半壊 311 棟、床下浸水 356 棟、大規模半壊 19 棟、一部損壊・床上浸水 423 棟、由良川水位 8.3m に達する
" 10 月 24 日	京都府立消防学校北部訓練拠点開設式 京都府北部地域消防団員等の訓練拠点として消防防災センターの供用を開始
○平成 26 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員） 実員 124 名 救急救命士 実員 25 名 消防署に指揮隊車を配置し、24 時間常駐の指揮隊の運用を開始する 消防救急デジタル無線運用開始
" 8 月 16 日	「8 月豪雨災害」16 日～17 日にかけて降り続いた観測史上最大の雨による内水被害の発生 4,500 棟が浸水
○平成 27 年 1 月 29 日	消防団簡易デジタル無線整備
" 3 月 27 日	水槽付消防ポンプ自動車（１-A 型）を購入し、消防署に配置（更新）
" 4 月 1 日	消防職員 8 名採用（内 1 名増員） 実員 125 名
" 4 月 13 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 26 名 消防本部機構改革 本部 4 課 8 係、署 4 課 2 分署 13 係となる
" 7 月 14 日	ｅ－ラーニング方式による救急講習を開始
" 9 月 9 日	福知山市救急まちかど安心ステーション開設

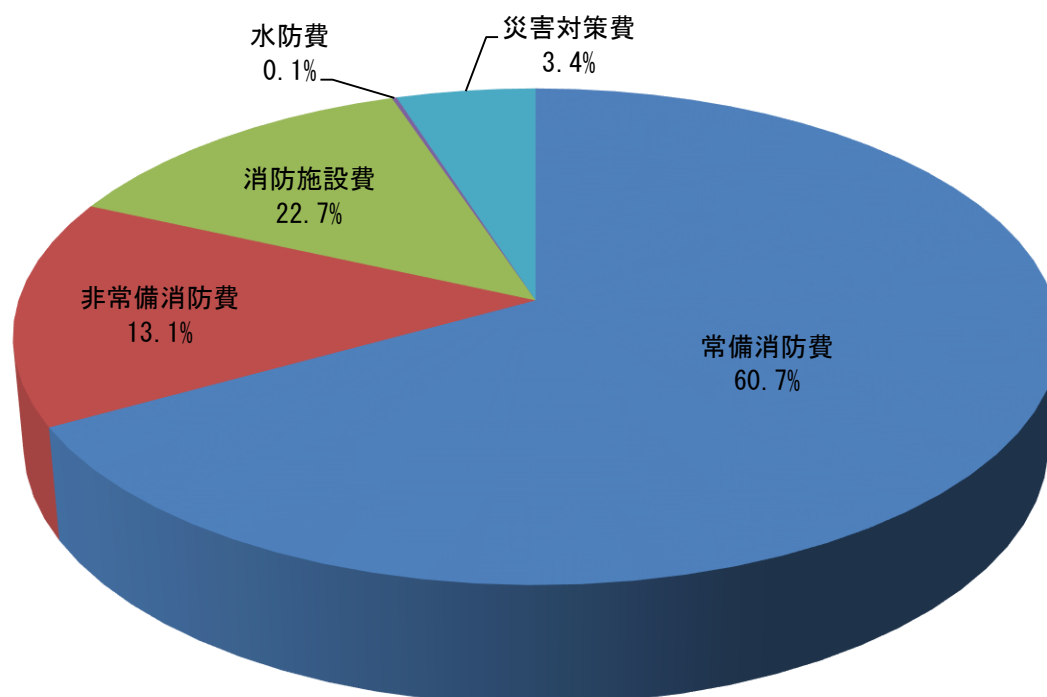
○平成 28 年 1 月 18 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 25 日	指令車（トヨタノア）を購入し、消防本部に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 126 名 救急救命士 実員 26 名 消防署機構改革 4 課 2 分署 12 係となる
〃 4 月 8 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 27 名
〃 4 月 16 日	熊本地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～ 4 月 22 日）
〃 11 月 6 日	消防防災センターオープン 5 周年「ふくちやま消防防災フェア」開催
○平成 29 年 3 月 29 日	消防防災センター来館者が 5 万人に達する
〃 4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 4 名増員） 実員 129 名
〃 4 月 10 日	災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、消防署北分署に配置（更新）
〃 5 月 22 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 27 名
〃 9 月 17 日	「台風 18 号災害」一部損壊・床上浸水 5 棟、床下浸水 29 棟
〃 9 月 22 日	支援車を購入し、消防署に配置（更新）
〃 10 月 22 日	「台風 21 号災害」半壊 12 棟、一部損壊・床上浸水 77 棟、床下浸水 92 棟
○平成 30 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 130 名 救急救命士 実員 28 名 消防本部機構改革 本部 3 課 6 係、署 4 課 2 分署 14 係となる

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）					
年 度		平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	
一般会計予算		40,440,000	39,480,000	41,250,000	
消防費予算		1,746,324	1,443,366	1,577,544	
比		4.3%	3.7%	3.8%	
内 訳	常備消防費		1,059,527	1,053,855	1,055,768
	非常備消防費		228,745	173,193	233,557
	その他	消防施設費	396,719	184,990	207,301
		水防費	2,491	2,609	2,593
		災害対策費	58,842	28,719	78,325

2 平成 30 年度 消防予算の内訳



消防職員の定員及び現在員数

(平成30年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条 例 定 数								130
実員	1	3	21	23	40	1	40	1	130

消防職員の配置表

(平成30年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副長	消防士	その他の消防職員	合計
合 計	1	3	21	23	40	1	40	1	130
消防本部	消防長	1							1
	総務課	次長兼課長	1						1
		総務係		1			1	1	3
		消防団係		1			2		3
	消防課	課長	1						1
		企画係		1	2				3
		施設装備係		1	1				2
	通信指令課	次長兼課長	1						1
		課長補佐	1						1
		指令第1係	1	2			1		4
		指令第2係	1	2			1		4
消防署	次長兼署長	1							1
	警防課	課長	1						1
		担当課長	1						1
		庶務係	1		2		1		4
		警防係		1	6				7
		救急係		2	3	1	2		8
	予防課	課長	1						1
		担当課長	1						1
		課長補佐	1						1
		予防企画係		1	1		1		3
		予防指導係		1	3		5		9
		住民安全係		1	3		3		7
		危険物係	1	1			1		3
		調査係		2	2				4
	警備第1課		2(1)	(6)	(9)	(1)	(6)		2(23)
	警備第2課		2(1)	(5)	(10)		(7)		2(23)
東分署	分署長		1						1
	警備第1係		(1)	1	(5)		(4)		1(10)
	警備第2係		1		(5)		(5)		1(10)
	警防係		1		5		4		10
	予防係			1	5		5		11
北分署	分署長		1						1
	警備第1係		1	(1)	(5)		(4)		1(10)
	警備第2係		1	(3)	(2)		(5)		1(10)
	警防係			2	4		4		10
	予防係			2	3		5		10
初任教育入校							4		4

※ () は、兼務人数を表す。

消防職員階級別年齢状況

(平成30年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
20才未満							1		1
20才以上 24才以下							19		19
25才以上 29才以下					8	1	13		22
30才以上 34才以下					19		3		22
35才以上 39才以下					12		3	1	16
40才以上 44才以下				10	1		1		12
45才以上 49才以下			3	9					12
50才以上 54才以下		1	5	4					10
55才以上	1	2	13						16
合計	1	3	21	23	40	1	40	1	130
平均年齢	59.00	55.67	54.48	45.61	32.58	28.00	25.88	39.00	37.11

消防職員階級別勤続年数

(平成30年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
5年未満							30	1	31
5年以上 10年未満					23	1	9		33
10年以上 15年未満					12				12
15年以上 20年未満				2	5				7
20年以上 25年未満				11			1		12
25年以上 30年未満			2	8					10
30年以上	1	3	19	2					25
合計	1	3	21	23	40	1	40	1	130
平均勤続年数	37.00	37.00	33.48	24.43	9.63	7.00	3.25	1.00	14.89

事務分掌

【消防本部事務分担表】

総務課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関すること。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関すること。
- 3 職員の給与に関すること。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 5 消防職員委員会に関すること。
- 6 職員の公務災害補償に関すること。
- 7 消防団に関すること。
- 8 消防長会及び他都市等との調整に関すること。
- 9 福知山市事務分掌条例施行規則第4条第2項に規定する部の管理主管課の共通事務に関すること。

消防課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 消防施策の立案及び調整に関すること。
- 3 消防に関する条例、規則、規程その他法制に関すること。
- 4 消防行政の広報に関すること。
- 5 消防施設整備事業の計画及び実施に関すること。
- 6 応援協定及び緊急消防援助隊に関すること。
- 7 水防計画に関すること。
- 8 その他消防業務に関すること。

通信指令課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 災害通報の受付及び指令管制業務に関すること。
- 3 消防通信の運用に関すること。
- 4 気象情報及び災害情報に関すること。
- 5 災害発生時の関係機関との連絡調整に関すること。
- 6 消防指令施設及び消防通信施設の保安全管理及び技術指導に関すること。
- 7 消防隊等の出動計画に関すること。
- 8 非常招集に関すること。
- 9 消防通信の高度化に関すること。
- 10 消防統計に関すること。
- 11 その他通信指令業務に関すること。

【消防署事務分担表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関すること。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 3 福知山市消防防災センターの庁舎管理に関すること。
- 4 警防訓練に関すること。
- 5 消防関係団体に関すること。
- 6 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 7 消防地理水利に関すること。
- 8 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関すること。
- 9 消防団に関すること。
- 10 火災・救急・救助業務に関すること。

- 11 救急搬送証明書の交付に関すること。
- 12 消防署の他の課の主管に属さないこと。

予防課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 火災予防対策に関すること。
- 3 予防に関する条例、規則、規程その他法制に関すること。
- 4 防火・防災管理者に関すること。
- 5 予防査察及び防火指導に関すること。
- 6 予防広報に関すること。
- 7 災害時要配慮者に対する防火指導に関すること。
- 8 違反処理に関すること。
- 9 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 10 建築物の確認同意事務に関すること。
- 11 危険物製造所等の許認可に関すること。
- 12 危険物保安監督者等の指導に関すること。
- 13 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。
- 15 自主防災組織等の育成に関すること。
- 16 消防関係団体に関すること。
- 17 火災統計に関すること。
- 18 火災調査に関すること。
- 19 リ災証明書の交付に関すること。
- 20 福知山市防災センターの運営・管理に関すること。
- 21 その他予防業務に関すること。

警備第1課、警備第2課

- 1 災害現場活動に関すること。
- 2 現場指揮及び安全管理に関すること。
- 3 警防計画等の策定及び対策に関すること。
- 4 事業所等の警防・防火指導に関すること。
- 5 水難救助に関すること。
- 6 火災調査に関すること。
- 7 その他消防署長が必要と認めること。

分 署

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 3 分署員の教養訓練に関すること。
- 4 庁舎管理に関すること。
- 5 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 6 消防地理水利に関すること。
- 7 火災・救急・救助業務に関すること。
- 8 消防団に関すること。
- 9 火災予防対策に関すること。
- 10 予防査察及び防火指導に関すること。
- 11 防火・防災管理者に関すること。
- 12 予防広報に関すること。

- 13 災害時要配慮者に対する防火指導に関すること。
- 14 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 15 建築物の確認同意事務に関すること。
- 16 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 17 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。
- 18 自主防災組織等の育成に関すること。
- 19 その他分署長が必要と認めること。

消防相互応援協定の締結状況

(平成 30 年 4 月 1 日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両 丹 都 市 消 防 相 互 応 援 協 定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成 21 年 2 月 1 日	市域間における 消防・救急業務
消 防 相 互 応 援 に 関 する 協 定	京都中部広域 消防組合	平成 20 年 4 月 1 日	常 備 消 防 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
〃	豊岡市	平成 18 年 1 月 1 日	市域間における 消防・救急業務
〃	南但広域 行政事務組合	平成 25 年 4 月 1 日	〃
〃	丹波市	平成 19 年 1 月 1 日	〃
〃	篠山市	平成 11 年 4 月 26 日	〃
京 都 府 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	京都府 26 市町村 ・ 4 消防組合	平成 19 年 3 月 12 日	大 規 模 災 害 及 特 殊 災 害 等
舞鶴若狭自動車道 に お け る 消 防 相 互 応 援 協 定	敦賀美方消防組合 若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 篠山市 三田市 三木市 神戸市	平成 27 年 2 月 18 日	高 速 道 路 に お け る 火 災 ・ 救 急 及 び 救 助 業 務

【警 防】

消防本部・署別自動車現勢一覧

(平成30年4月1日)

所属	名 称	種 別	車名・型式	登録年月日	定員	備 考
本部	指令車	指令車	トヨタ DBA-ZRR85G	H28.3.24	8	
消防署	ポンプ1号車	ポンプ車	三菱 KK-FG72EC	H15.11.26	5	C D - I 型
	ポンプ2号車	ポンプ車	日 野 BDG-XZU378M	H19.1.25	5	C D - I 型
	ポンプ5号車	ポンプ車	三菱 KC-FG538D	H8.1.19	6	C D - I 型
	タンク1号車	水槽付ポンプ車	日 野 SDG-GX7JGAA改	H27.3.5	6	水1-A型 圧縮泡消火装置付き
	救助工作車	救助工作車	日 野 KK-GX1JGDA改	H13.2.21	6	
	梯子車	梯子付ポンプ車	日 野 KL-PR4FPHF	H14.12.12	6	30m級
	機動装備車	機動装備車	三菱 TKG-FGB70	H25.2.21	3	
	救急1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H28.1.8	7	高規格
	救急2号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H21.3.10	7	高規格
	指揮隊車	指揮隊車	トヨタ CBF-TRH216K	H26.3.24	5	
	支援車	支援車	ニッサン DBA-NT32	H29.9.19	5	
	軽積載車	軽積載車	スズキ M-DB51T改	H3.2.27	4	
	資材搬送車	資材搬送車	ニッサン T-UF22改	H2.11.15	6	
	連絡車	連絡車	ダイハツ E-L510S	H10.5.23	4	
	広報車	広報車	スズキ CBA-MH21S	H16.7.30	4	
	防火指導車	防火指導車	ホンダ DBA-JF2	H24.9.14	4	
	査察車	査察車	ダイハツ DBA-LA600S	H29.4.27	4	
	救援車	救援車	トヨタ CBA-TRH214W	H16.12.16	10	
	搬送車	搬送車	トヨタ CBF-TRH228B	H18.5.26	15	
東分署	ポンプ3号車	ポンプ車	日 野 BDG-XZH378M	H22.5.24	6	C D - I 型
	タンク2号車	水槽付ポンプ車	日 野 KK-FD1JEDA改	H14.2.20	7	水 I - A 型
	化学車	化学ポンプ車	ニッサン U-CM87EE改	H5.9.17	7	Ⅱ型
	救急3号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H23.2.17	7	高規格
	救急5号車	救急車	ニッサン TC-FPWGE50改	H17.3.25	7	高規格
	東指揮広報車	広報車	ニッサン LC-VPE25	H16.3.23	9	
	東資材搬送車	資材搬送車	トヨタ KF-CM85	H13.3.19	3	
北分署	ポンプ4号車	ポンプ車	日 野 TKG-XZU685M	H29.3.23	5	C D - I 型
	救急4号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.4.27	7	高規格
	救急6号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.10.6	7	高規格
	北指揮広報車	広報車	ニッサン UA-NT30	H17.11.18	5	
	北資材搬送車	資材搬送車	トヨタ T-YH81改	H5.9.16	8	

消防水利の状況

(平成30年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓			
	平成29年度		40立米 以上 以現	40立米 未満 有現		平成29年度		上水道 現 有	簡易水道 現 有
	新設	廃止				新設	廃止		
中 央	0	0	103	10	4	0	0	453	0
大 正	0	0	45	4	1	0	0	159	0
雀 部	0	1	48	4	1	0	0	184	0
庵 我	0	1	30	13	1	1	0	82	0
修 齊	0	0	77	20	1	0	0	292	0
西 中	2	4	40	6	1	0	0	146	0
下 川	0	0	33	4	1	0	0	91	0
上 豊	0	0	24	16	1	0	0	160	0
上 六	0	0	19	11	1	0	0	78	0
中 六	0	0	21	5	1	0	0	59	0
下 六	0	0	61	8	1	1	0	142	0
上 川	0	0	23	2	1	0	1	144	0
金 谷	0	1	20	5	1	0	0	91	0
三 岳	0	0	6	4	1	0	0	0	119
金 山	0	0	12	4	0	0	0	0	98
雲 原	0	0	1	1	1	0	0	0	70
佐 賀	0	0	7	5	2	0	0	88	0
長 田 野	3	0	128	30	1	0	0	107	0
菟 原	0	0	57	5	1	0	0	0	153
細 見	1	0	65	17	1	0	0	0	201
川 合	1	1	50	2	1	0	0	0	101
上夜久野	0	0	52	9	0	0	0	0	263
中夜久野	0	1	18	3	0	0	0	0	129
下夜久野	0	0	30	4	1	0	0	0	217
河 守	0	0	29	0	1	0	0	0	123
河 守 上	0	0	25	8	2	0	0	0	110
河 西	0	0	14	5	1	0	0	0	78
河 東	0	0	32	3	1	1	0	0	111
有 路 上	0	0	43	3	1	0	0	0	111
有 路 下	0	0	30	5	1	0	0	0	96
合 計	7	9	1,143	216	32	3	1	2,276	1,980

救助活動のための機械器具等の保有状況

(平成30年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	5	5	4
	三連はしご	3	2	1
	ワイヤーはしご	1		
	空気式救助マット	1		
	救命索発射装置	1		
	救助縛帯	6	1	1
	平担架	1	2	
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	2	1
	可搬ウインチ	2	1	1
	マンホール救助器具	1		
	マット型空気ジャッキ	1		
	大型油圧スプレッダー	1		
切断用	大型油圧切断機	1		
	エンジンカッター	4	2	1
	チェーンソー	2	2	2
	ガス溶断機	1		
	空気鋸	1		
	空気切断機	1		
	鉄線カッター	3	2	2
破壊器具	万能斧	8	4	3
	ハンマー	1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1		
	削岩機	1		
測定用器具	可燃性ガス測定器	3	1	1
	有毒ガス測定器	1		
	放射線測定器	13	1	6

(平成30年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空気呼吸器	29	9	6
	防塵マスク	44	12	27
	送排風機	1		
隊員保護用	耐電手袋	15	6	5
	耐電衣	4		
	耐電ズボン	4		
	耐電長靴	8	6	5
	防塵メガネ	44	12	27
	携帯警報器	10	3	7
	陽圧式化学防護服	10		
水難救助用	潜水器具	6		
	救命胴衣	49	18	16
	救命ボート	6	3	3
	船外機	4	2	2
	救命浮環	6	2	2
	流水救助器具	12	4	4

【統計】

火災概要

			平成29年	平成28年	前 年 比 （ △ 減 ）
火災件数 （爆発）	建 物		18 (1)	20 (1)	△ 2 (0)
	林 野		3 (0)	1 (0)	2 (0)
	車 両		7 (0)	3 (0)	4 (0)
	その他		14 (0)	14 (0)	0 (0)
	計		42 (1)	38 (1)	4 (0)
焼損面積	建物（㎡）	床面積	763	683	80
		表面積	47	4	43
	山林原野（a）		3	38	△ 35
焼損棟数 （棟）	全 焼		5	5	0
	半 焼		3	0	3
	部分焼		8	4	4
	ぼ や		5	14	△ 9
り災世帯 （世帯）	全 損		2	2	0
	半 損		1	1	0
	小 損		9	16	△ 7
り 災 人 員 （人）			28	32	△ 4
死傷者 （人）	死 者		4	2	2
	傷 者		4	5	△ 1
損害見積額 （千円）	建 物		24,973	19,568	5,405
	収容物		6,507	6,953	△ 446
	林 野		0	0	0
	車 両		691	444	247
	その他		213	0	213
	爆 発		6,378	1,600	4,778
	計		38,762	28,565	10,197
火災発生間隔（日）			8.7	9.6	△ 0.9
1 件平均損害額（千円）			923	752	171
1 日平均損害額（千円）			106	78	28
1 件平均建物焼損面積（㎡）			42	34	8

累年火災比較（10年間）

		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
火災件数（件）	建 物	33	16	23	19	28	19	18	15	20	18
	林 野	1	0	1	0	2	3	2	0	1	3
	車 両	5	9	3	13	5	2	6	1	3	7
	その他	17	12	17	16	9	15	13	16	14	14
	計	56	37	44	48	44	39	39	32	38	42
焼損面積	建物（㎡）	床面積	1,269	544	1,301	1,032	1,189	943	763	350	683
		表面積	4	149	71	7	15	47	17	53	4
	山林原野（a）		49	46	65	47	15	47	22	1	38
焼損棟数（棟）	全 焼		10	6	10	9	7	9	5	9	5
	半 焼		0	0	2	3	4	2	0	0	3
	部分焼		9	8	5	5	9	8	4	5	4
	ぼ や		18	6	13	13	14	10	16	8	14
り災世帯（世帯）	全 損		5	2	4	4	5	4	5	3	2
	半 損		0	0	2	1	1	0	1	0	4
	小 損		15	9	10	14	13	12	5	5	13
り災人員（人員）		56	34	45	49	42	37	20	10	32	28
死傷者（人）	死 者		2	1	1	3	3	4	3	2	2
	傷 者		13	2	7	5	6	64	7	1	5
損害見積額（千円）	建 物（収容物含む）		52,364	16,093	42,813	51,902	49,612	36,630	41,184	24,052	26,521
	林 野		0	0	0	0	0	1,244	0	0	0
	車 両		12,760	1,786	3,624	1,432	297	147	691	755	444
	その他		4,794	0	3,471	3,144	302	424	753	55	0
	爆 発		0	0	0	0	0	0	0	22,528	1,600
	計		69,918	17,879	49,908	56,478	50,211	38,445	42,628	47,390	28,565
											38,762

署・分署別火災発生状況

(平成29年中)

		消防署	東分署	北分署	合 計
火災件数 (件)	建 物	8	6	4	18
	林 野	0	0	3	3
	車 両	3	2	2	7
	その他	5	4	5	14
	計	16	12	14	42
焼損面積	建 物 (㎡)	93	71	599	763
	山林原野 (a)	0	0	3	3
焼損棟数 (棟)	全 焼	2	0	3	5
	半 焼	0	2	1	3
	部 分 焼	3	1	4	8
	ぼ や	3	2	0	5
	計	8	5	8	21
り災世帯 (世帯)	全 損	0	0	2	2
	半 損	0	1	0	1
	小 損	5	2	2	9
	計	5	3	4	12
り災人員 (人)		8	7	13	28
死 者 (人)		4	0	0	4
傷 者 (人)		2	2	0	4
損害見積額 (千円)	建 物	6,161	2,000	16,812	24,973
	収 容 物	205	1,224	5,078	6,507
	林 野	0	0	0	0
	車 両	118	314	259	691
	そ の 他	106	75	32	213
	爆 発	0	0	6,378	6,378
	計	6,590	3,613	28,559	38,762

地区別火災発生状況 1

(平成29年中)

	火災件数（件）					焼損面積			焼損棟数（棟）				
	建物	林野	車両	その他	計	建物（㎡）		山林 原野 （a）	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
						床面積	表面積						
中 央	3	0	1	2	6	0	12	0	0	0	1	2	3
大 正	2	0	1	1	4	0	1	0	0	0	1	1	2
雀 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庵 我	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
修 斉	4	1	0	0	5	326	23	2	3	1	3	0	7
西 中	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
下 川	2	0	1	0	3	38	0	0	1	0	0	0	1
上 豊	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
上 六	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中 六	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
下 六	4	0	1	0	5	17	0	0	0	1	1	1	3
上 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 谷	1	1	0	2	4	328	11	0	1	0	2	0	3
三 岳	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
金 山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雲 原	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
佐 賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟 原	1	0	0	1	2	54	0	0	0	1	0	0	1
細 見	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
川 合	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
上夜久野	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
下夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河 守	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
河守上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河 西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河 東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	3	7	14	42	763	47	3	5	3	8	5	21

地区別火災発生状況 2

(平成29年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	計
中 央	0	0	2	2	3	0	2	164	10	0	5	106	0	285
大 正	0	0	2	2	2	2	0	9	2	0	3	0	0	14
雀 部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庵 我	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110	0	0	110
修 斉	2	0	2	4	13	2	0	19,259	1,753	0	0	0	0	21,012
西 中	0	0	1	1	5	0	0	35	6	0	0	0	0	41
下 川	0	0	0	0	0	0	0	547	101	0	56	0	6,378	7,082
上 豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	75
中 六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 六	0	0	1	1	1	0	1	188	1,177	0	303	0	0	1,668
上 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 谷	0	0	1	1	3	0	0	2,994	3,417	0	0	0	0	6,411
三 岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	203	0	0	203
金 山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雲 原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐 賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟 原	0	1	0	1	1	0	0	1,777	41	0	0	0	0	1,818
細 見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11
川 合	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
上夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下夜久野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河 守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	32
河守上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河 西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河 東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	1	9	12	28	4	4	24,973	6,507	0	691	213	6,378	38,762

月別火災発生状況

(平成29年中)

	火災発生件数（件）					焼損面積			焼損棟数（棟）				
	建物	林野	車両	その他	計	建物（㎡）		山林原野（a）	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
1月	4	0	1	0	5	54	1	0	0	1	1	2	4
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	2	2	0	3	7	17	0	3	0	1	1	0	2
4月	3	0	0	2	5	85	0	0	1	0	1	0	2
5月	2	0	4	3	9	233	23	0	1	1	2	1	5
6月	1	0	0	3	4	328	11	0	1	0	2	0	3
7月	1	1	1	1	4	0	0	0	0	0	0	1	1
8月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	2	0	0	1	3	8	0	0	1	0	0	1	2
10月	1	0	0	0	1	0	12	0	0	0	1	0	1
11月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	1	0	1	0	2	38	0	0	1	0	0	0	1
合計	18	3	7	14	42	763	47	3	5	3	8	5	21

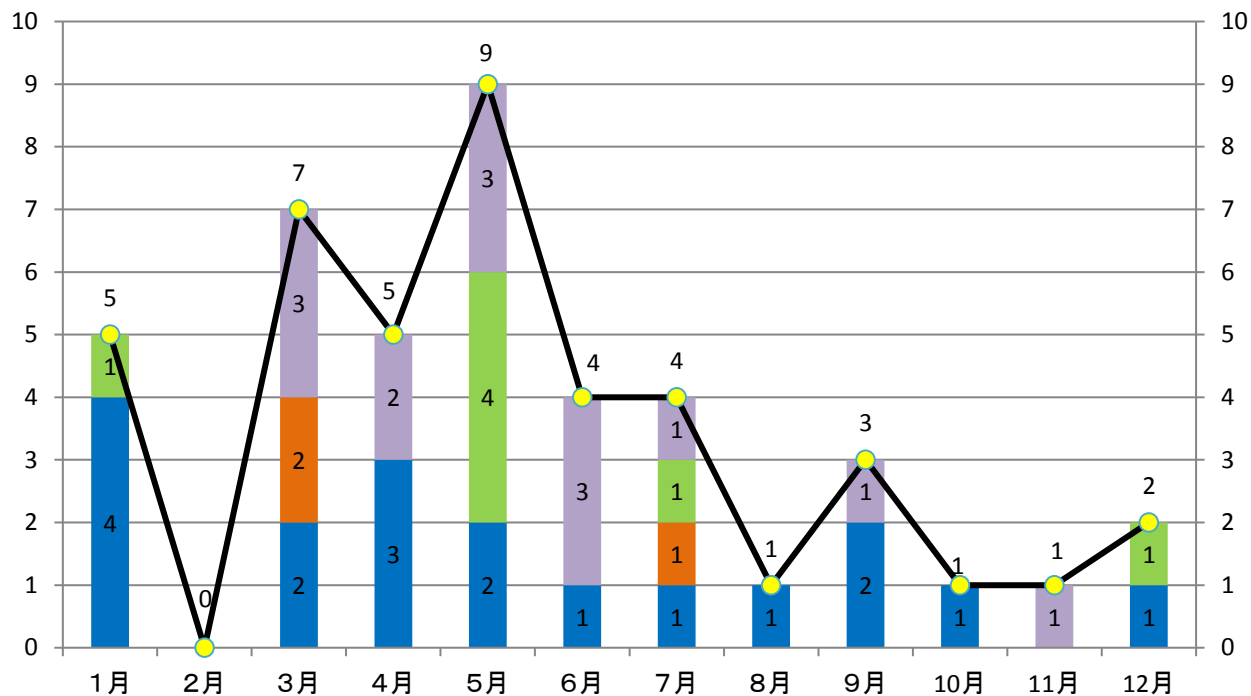
(平成29年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	計
1月	0	1	2	3	7	1	0	1,956	50	0	300	0	0	2,306
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	1	1	1	0	1	158	0	0	3	32	6,378	6,571
4月	0	0	1	1	3	2	0	6,003	151	0	0	0	0	6,154
5月	2	0	2	4	11	1	0	13,271	1,560	0	374	0	0	15,205
6月	0	0	1	1	3	0	0	2,994	3,417	0	0	75	0	6,486
7月	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	11	106	0	117
8月	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0	0	0	0	15
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	1,219	0	0	0	0	1,219
10月	0	0	1	1	1	0	1	29	9	0	0	0	0	38
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	547	101	0	3	0	0	651
合計	2	1	9	12	28	4	4	24,973	6,507	0	691	213	6,378	38,762

月別火災種別件数

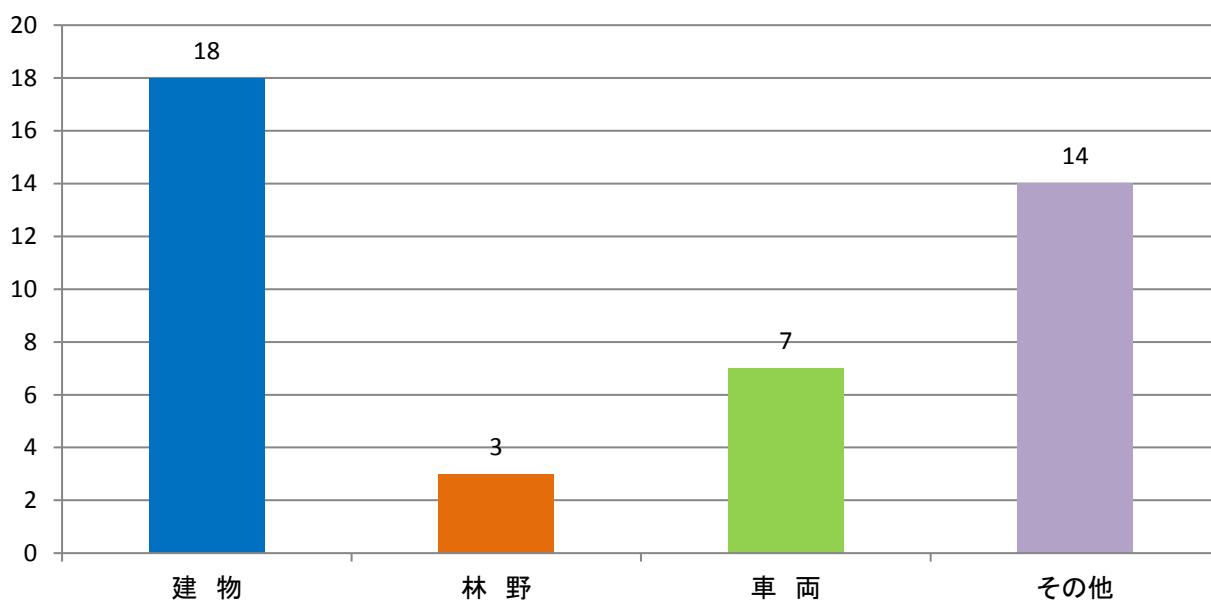
(件)

その他 車両 林野 建物 火災件数



火災種別件数

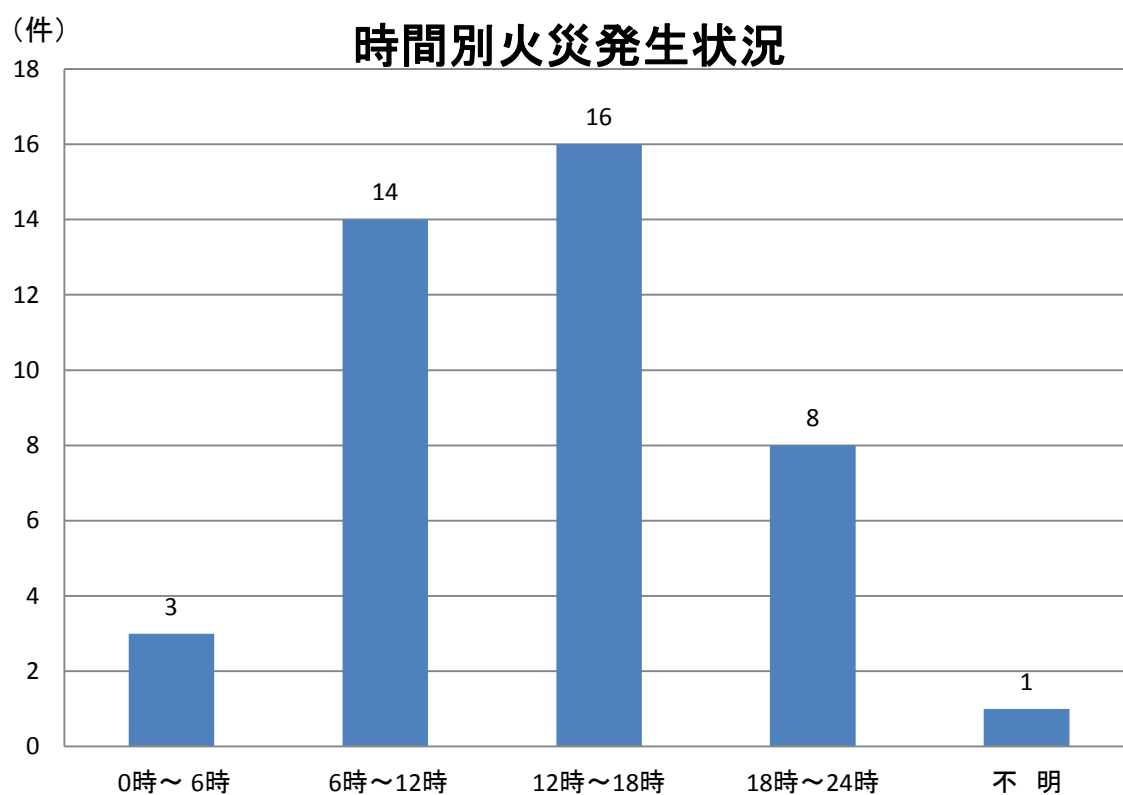
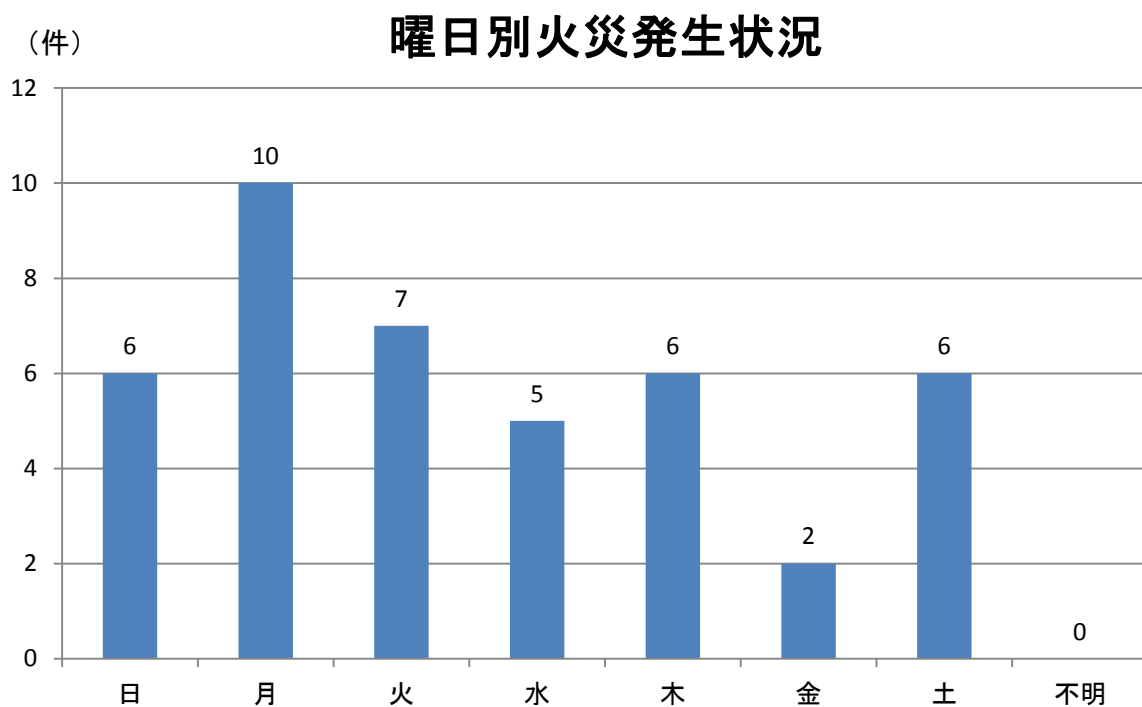
(件)



曜日・時間別火災発生状況

(平成29年中)

		件数 (件)	火 災 種 別				焼 損 面 積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建 物		山林 原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6～12	1	0	0	0	1	0	0	0	
	12～18	4	0	2	0	2	0	0	3	
	18～24	1	1	0	0	0	0	0	0	
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	6	1	2	0	3	0	0	3	
	月	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0
6～12		7	3	0	0	4	8	0	0	
12～18		2	0	0	0	2	0	0	0	
18～24		1	1	0	0	0	328	11	0	
不 明		0	0	0	0	0	0	0	0	
計		10	4	0	0	6	336	11	0	
火		0～6	1	0	0	0	1	0	0	0
	6～12	2	1	0	1	0	0	0	0	
	12～18	3	2	0	0	1	0	0	0	
	18～24	1	1	0	0	0	0	0	0	
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	7	4	0	1	2	0	0	0	
	水	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0
6～12		1	1	0	0	0	0	0	0	
12～18		2	0	0	1	1	0	0	0	
18～24		1	0	0	0	1	0	0	0	
不 明		1	0	1	0	0	0	0	0	
計		5	1	1	1	2	0	0	0	
木		0～6	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～12	2	1	0	1	0	17	0	0	
	12～18	2	2	0	0	0	37	0	0	
	18～24	2	2	0	0	0	233	24	0	
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	6	5	0	1	0	287	24	0	
	金	0～6	0	0	0	0	0	0	0	0
6～12		0	0	0	0	0	0	0	0	
12～18		1	0	0	1	0	0	0	0	
18～24		1	1	0	0	0	0	0	0	
不 明		0	0	0	0	0	0	0	0	
計		2	1	0	1	0	0	0	0	
土		0～6	2	0	0	2	0	0	0	0
	6～12	1	1	0	0	0	54	0	0	
	12～18	2	0	0	1	1	0	0	0	
	18～24	1	1	0	0	0	0	0	0	
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	6	2	0	3	1	54	0	0	
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	



気象別火災発生状況

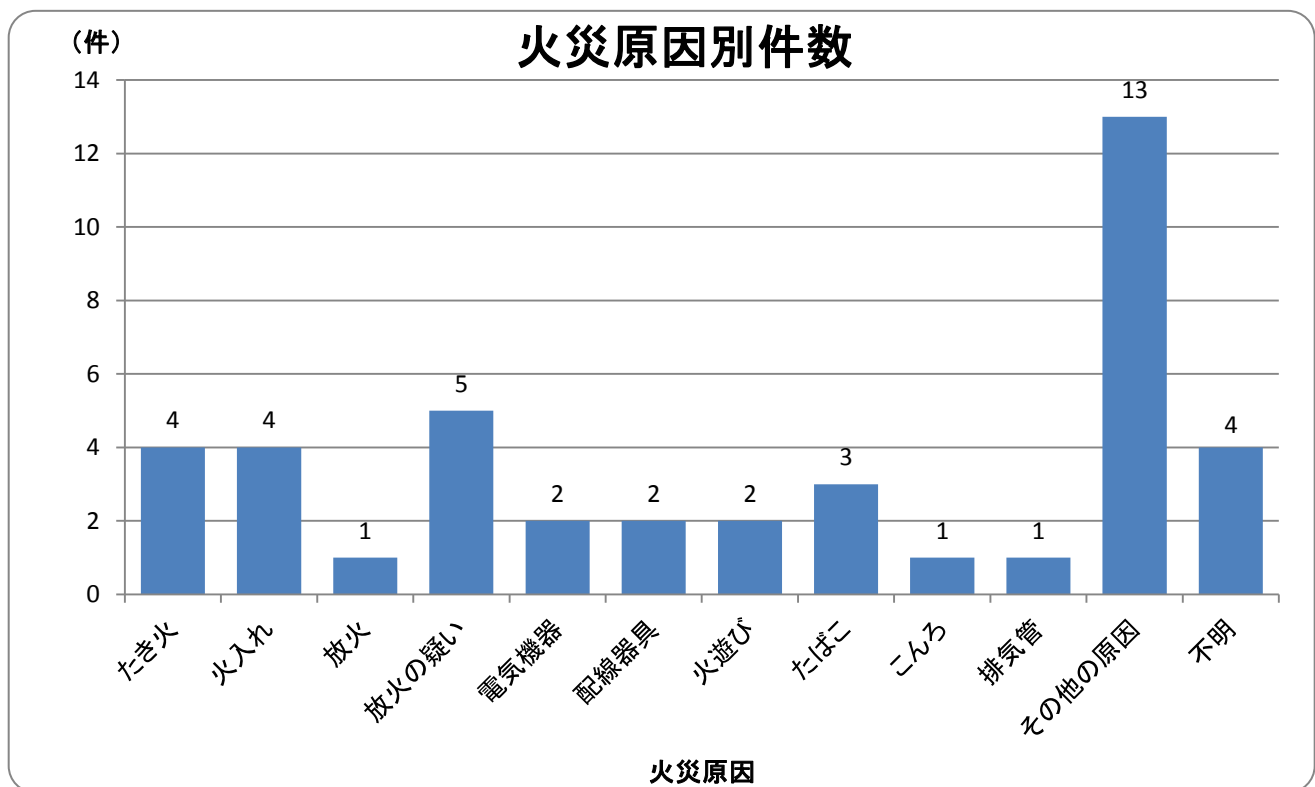
(平成29年中)

		火災件数（件）					損 害 見 積 額 （ 千 円 ）						
		合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	建 物	収 容 物	林 野	車 両	そ の 他	爆 発
風 速	2m未満	19	9	1	2	7	21,273	9,737	4,852	0	306	0	6,378
	2m～3m	9	1	1	2	5	442	15	0	0	214	213	0
	3m～5m	14	8	1	3	2	17,047	15,221	1,655	0	171	0	0
	5m～7m	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7m～10m	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10m以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	42	18	3	7	14	38,762	24,973	6,507	0	691	213	6,378
湿 度	40%未満	10	3	3	1	3	224	135	1	0	56	32	0
	40%～50%	11	5	0	2	4	12,770	6,015	166	0	211	0	6,378
	50%～60%	7	3	0	0	4	15,121	13,426	1,589	0	0	106	0
	60%～70%	3	2	0	0	1	53	44	9	0	0	0	0
	70%～80%	6	2	0	3	1	7,258	3,541	3,518	0	124	75	0
	80%～90%	3	2	0	0	1	2,995	1,777	1,218	0	0	0	0
	90%以上	2	1	0	1	0	341	35	6	0	300	0	0
	計	42	18	3	7	14	38,762	24,973	6,507	0	691	213	6,378
天 候	晴	14	4	2	3	5	324	275	30	0	19	0	0
	曇	27	13	1	4	9	38,397	24,663	6,471	0	672	213	6,378
	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	霧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雪	1	1	0	0	0	41	35	6	0	0	0	0
	計	42	18	3	7	14	38,762	24,973	6,507	0	691	213	6,378
警 報 ・ 注 意 報 等	火災気象通報	5	3	0	1	1	310	275	30	0	5	0	0
	乾燥・強風注意報	6	3	0	2	1	21,075	19,134	1,682	0	259	0	0
	なし	24	11	3	3	7	17,045	5,529	4,789	0	317	32	6,378
	その他	7	1	0	1	5	332	35	6	0	110	181	0
	計	42	18	3	7	14	38,762	24,973	6,507	0	691	213	6,378

火災原因別調べ

(平成29年中)

	件数 (件)	内 訳												損 害 見 積 額 (千円)
		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
たき火	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	690
火入れ	4	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	75
放火	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6,411
放火の疑い	5	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	136
電気機器	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	56
配線器具	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1,987
火遊び	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	106
たばこ	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	49
こんろ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
排気管	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	203
その他の原因	13	1	0	4	1	4	1	1	0	0	0	0	1	7,071
不明	4	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	21,978
合 計	42	5	0	7	5	10	4	3	1	3	1	1	2	38,762



救急概要

(平成29年中)

			平 成 29 年	平 成 28 年	前 年 比 （ △ 減 ）
出 動 件 数 （ 件 ）			3,699	3,611	88
事 故 種 別	火 災		55	35	20
	自 然 災 害		1	0	1
	水 難		6	0	6
	交 通		263	356	△ 93
	労 働 災 害		28	41	△ 13
	運 動 競 技		23	18	5
	一 般 負 傷		536	513	23
	加 害		15	8	7
	自 損 行 為		37	49	△ 12
	急 病		2,432	2,288	144
	そ の 他	転 院 搬 送	273	256	17
		医 師 搬 送	2	3	△ 1
		資 材 搬 送	0	0	0
		そ の 他	28	44	△ 16
搬 送 人 員			3,382	3,276	106
不 搬 送			355	383	△ 28
1 ヲ月平均出動件数（件）			308	300	8
1 日 平 均 出 動 件 数 （ 件 ）			10.13	9.89	0.24
平 均 現 着 所 要 時 間 （ 分 ）			9.00	8.80	0.20

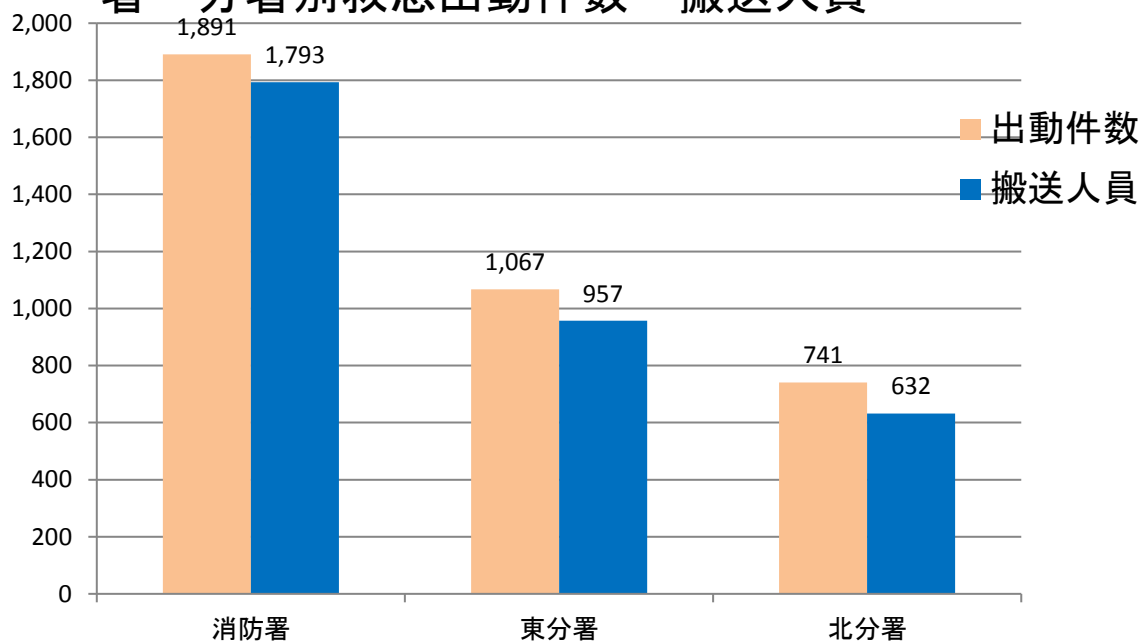
署・分署別救急活動状況

(平成29年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	その他	合 計
消防署	出動件数 (件)	15	0	1	135	14	11	266	7	13	1,196	233	1,891
	搬送人員 (人)	3	0	1	144	13	10	252	7	8	1,133	222	1,793
東分署	出動件数 (件)	14	1	1	69	8	8	159	4	16	761	26	1,067
	搬送人員 (人)	1	1	1	68	7	7	149	4	11	689	19	957
北分署	出動件数 (件)	26	0	4	59	6	4	111	4	8	475	44	741
	搬送人員 (人)	2	0	4	63	6	6	106	2	2	408	33	632
合計	出動件数 (件)	55	1	6	263	28	23	536	15	37	2,432	303	3,699
	搬送人員 (人)	6	1	6	275	26	23	507	13	21	2,230	274	3,382

(件・人)

署・分署別救急出動件数・搬送人員



月別救急活動状況

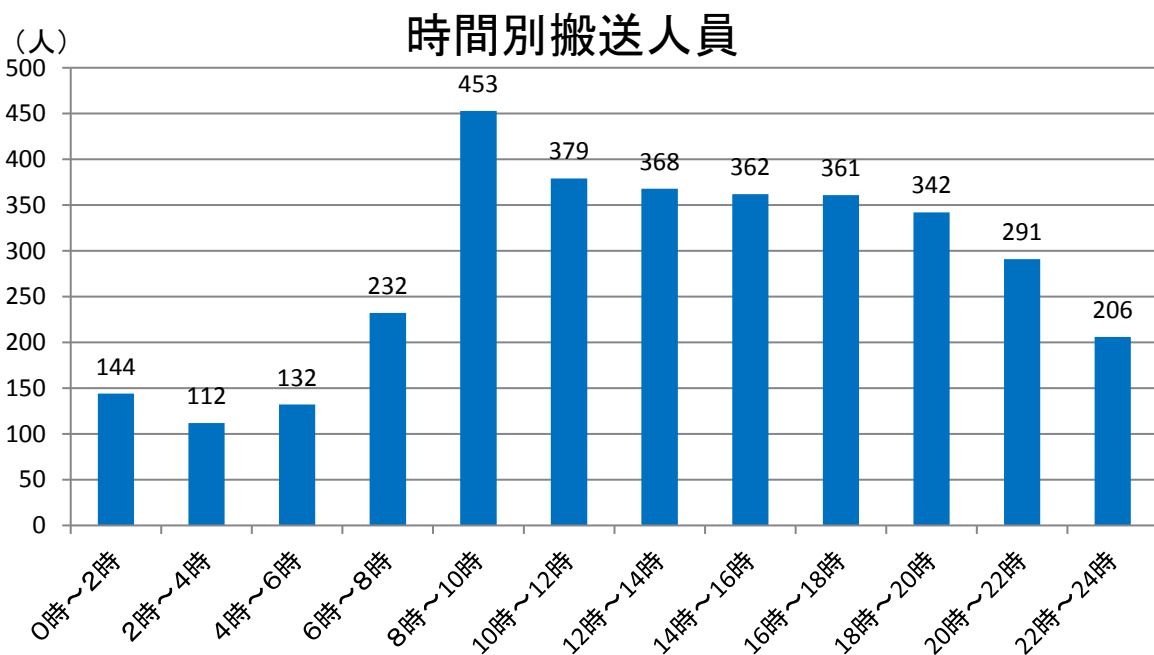
(平成29年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
1 月	出動件数 (件)	3	1	0	18	1	1	54	4	0	244	29	355
	搬送人員 (人)	0	1	0	14	1	1	48	3	0	219	27	314
2 月	出動件数 (件)	0	0	0	20	3	1	38	4	3	219	19	307
	搬送人員 (人)	0	0	0	20	3	1	34	3	2	202	15	280
3 月	出動件数 (件)	10	0	0	28	4	1	37	1	9	192	18	300
	搬送人員 (人)	1	0	0	34	4	1	36	1	5	171	17	270
4 月	出動件数 (件)	5	0	2	26	3	0	52	0	1	191	19	299
	搬送人員 (人)	0	0	2	27	3	0	51	0	1	177	18	279
5 月	出動件数 (件)	9	0	1	24	2	2	34	0	3	165	20	260
	搬送人員 (人)	2	0	1	26	2	2	30	0	2	151	18	234
6 月	出動件数 (件)	5	0	1	24	2	3	42	0	3	189	40	309
	搬送人員 (人)	0	0	2	24	2	3	38	0	2	169	37	277
7 月	出動件数 (件)	6	0	2	21	2	2	43	1	5	261	24	367
	搬送人員 (人)	1	0	1	21	2	2	42	0	2	247	21	339
8 月	出動件数 (件)	6	0	0	20	4	2	39	1	1	225	39	337
	搬送人員 (人)	1	0	0	17	3	2	38	1	0	211	35	308
9 月	出動件数 (件)	5	0	0	19	2	1	43	0	6	160	14	250
	搬送人員 (人)	0	0	0	24	1	1	39	0	2	155	12	234
10月	出動件数 (件)	2	0	0	25	1	4	51	0	1	198	24	306
	搬送人員 (人)	1	0	0	27	1	4	51	0	1	174	21	280
11月	出動件数 (件)	1	0	0	14	2	4	44	1	3	182	15	266
	搬送人員 (人)	0	0	0	16	2	5	41	1	3	166	12	246
12月	出動件数 (件)	3	0	0	24	2	2	59	3	2	206	42	343
	搬送人員 (人)	0	0	0	25	2	1	59	4	1	188	41	321
合計	出動件数 (件)	55	1	6	263	28	23	536	15	37	2,432	303	3,699
	搬送人員 (人)	6	1	6	275	26	23	507	13	21	2,230	274	3,382

時間別事故種別搬送人員

(平成29年中)

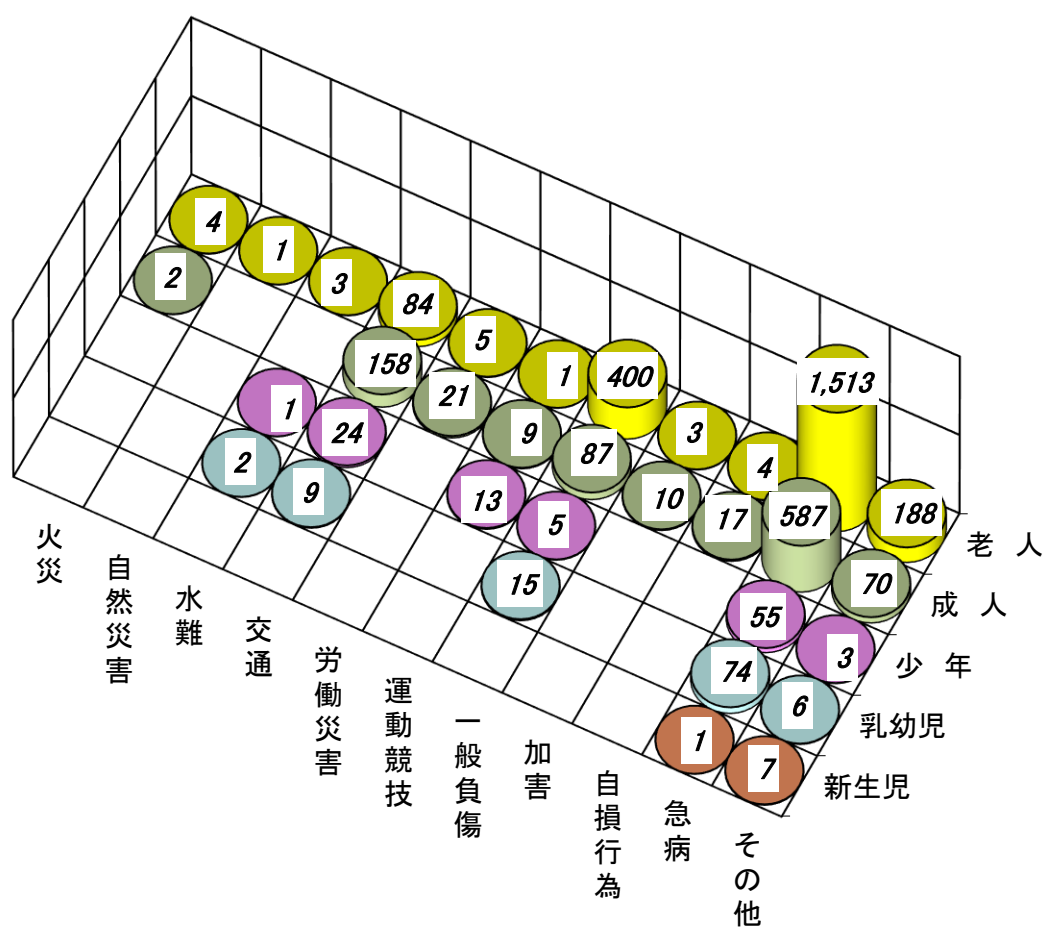
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2				2			23		1	108	10	144
2～4				10			11	2		86	3	112
4～6				2			23			103	4	132
6～8			1	20			31	1	2	170	7	232
8～10	1			43	7	2	95	1	2	278	24	453
10～12	1		3	30	7	1	67		2	233	35	379
12～14	1	1		36	4	4	47		5	230	40	368
14～16				38	4	10	61		2	222	25	362
16～18	2		1	40	2	5	55		5	212	39	361
18～20			1	28	1	1	47		1	225	38	342
20～22				20	1		27	5	1	214	23	291
22～24	1			6			20	4		149	26	206
合 計	6	1	6	275	26	23	507	13	21	2,230	274	3,382



年齢区分別事故種別搬送人員

(平成29年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児										1	7	8
乳幼児			2	9			15			74	6	106
少年			1	24		13	5			55	3	101
成人	2			158	21	9	87	10	17	587	70	961
老人	4	1	3	84	5	1	400	3	4	1,513	188	2,206
合計	6	1	6	275	26	23	507	13	21	2,230	274	3,382



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(平成29年中)

傷病程度		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死 亡	男性				2		1	2	1	2	14	1	23
	女性			2	1			2		1	13		19
	計	0	0	2	3	0	1	4	1	3	27	1	42
重 症	男性	1	1		8	4	1	24	1	3	111	42	196
	女性				6			25		1	88	31	151
	計	1	1	0	14	4	1	49	1	4	199	73	347
中等症	男性	1		1	23	11	2	77		5	453	93	666
	女性	1		1	19			127	1	4	440	106	699
	計	2	0	2	42	11	2	204	1	9	893	199	1,365
軽 症	男性	3		2	120	8	16	119	5		554		827
	女性				96	3	3	131	5	5	557	1	801
	計	3	0	2	216	11	19	250	10	5	1,111	1	1,628
その他	男性												0
	女性												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男性	5	1	3	153	23	20	222	7	10	1,132	136	1,712
	女性	1	0	3	122	3	3	285	6	11	1,098	138	1,670
	合計	6	1	6	275	26	23	507	13	21	2,230	274	3,382

傷病程度別年齢区分搬送人員

(平成29年中)

	新生児	乳幼児	少 年	成 人	老 人	合計
死 亡				8	34	42
重 症	4	2	1	81	259	347
中等症	4	25	21	270	1,010	1,330
軽 症		79	79	602	903	1,663
その他						0
合 計	8	106	101	961	2,206	3,382

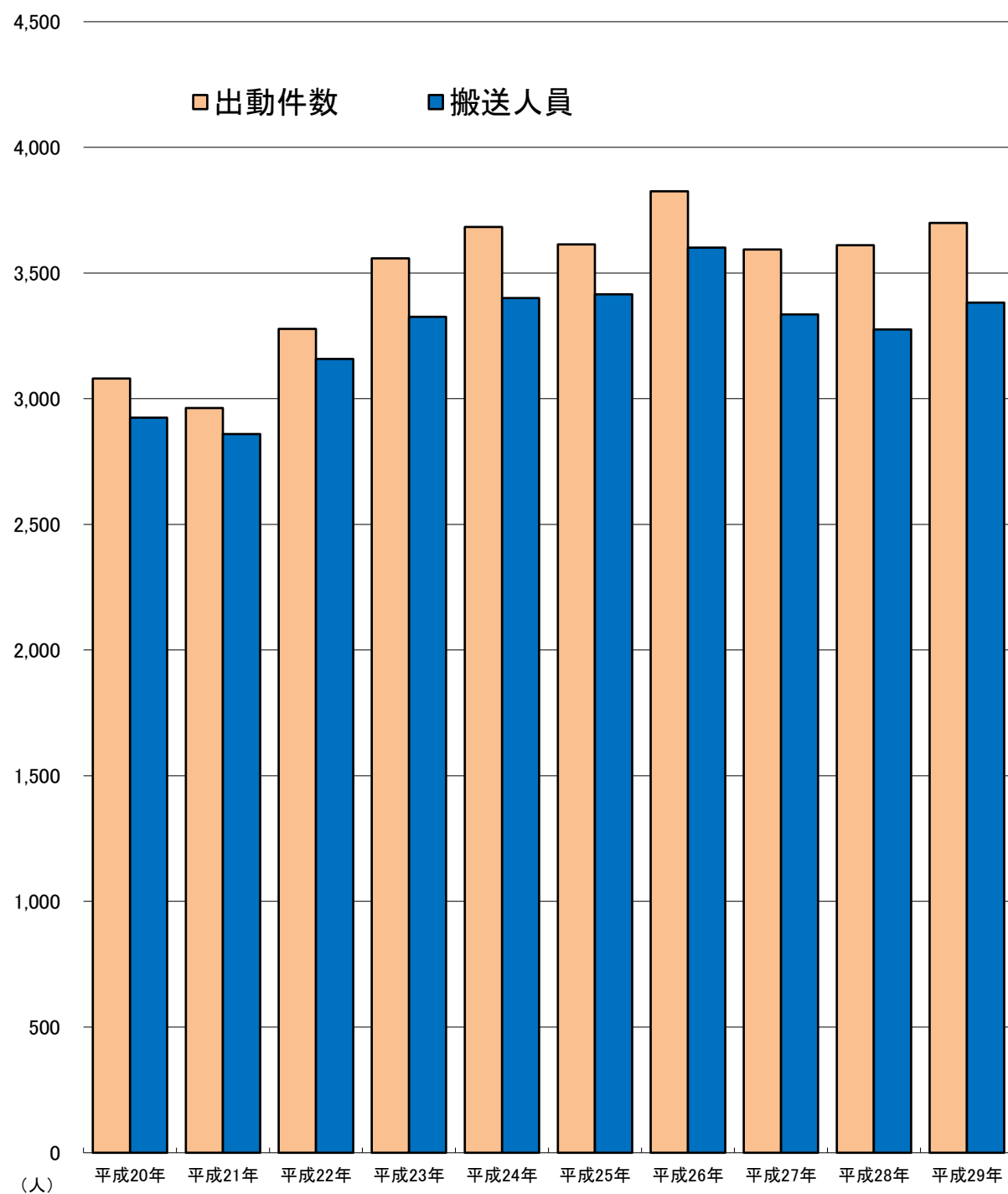
救 急 講 習 実 施 状 況

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
市民救命士(人)	1,009	646	589	652	825	619	923
(開催回数)	44	37	32	45	46	51	62
応急手当普及員(人)	54	0	31	0	0	0	52

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
市民救命士(人)	1,135	1,029	1,065	1,311	1,241	1,387	1,249
(開催回数)	81	78	69	73	84	82	116
応急手当普及員(人)	0	27	0	0	55	44	28

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	合計
市民救命士(人)	2,001	2,100	2,825	3,243	2,738	21,324
(開催回数)	96	107	140	151	142	1,536
応急手当普及員(人)	98	62	45	46	23	565

過去10年間における救急出動の推移



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
出動件数	3,080	2,963	3,278	3,559	3,683	3,614	3,825	3,594	3,611	3,699
搬送人員	2,925	2,860	3,158	3,326	3,401	3,416	3,601	3,336	3,276	3,382

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(平成29年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況		
	火 災	交 通 事 故	水 難	風 自然 水 災害 害 等	機 械 に よる 事 故	建 物 に よる 事 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ の 他 事 故	合 計	出 動 隊 数	活 動 件 数	救 助 人 員
1 月	2	2		1					1	6	24	2	1
2 月		4								4	19	2	3
3 月	1	3							1	5	19	2	2
4 月	3	2	1							6	30	3	2
5 月	1	2	1		1				1	6	27	2	1
6 月	1	2	1						1	5	20	2	
7 月		3	1							4	14	2	2
8 月	1	2								3	15	1	
9 月	2			1	1					4	16	4	3
10 月	1	1		4						6	16	5	6
11 月		2								2	8	1	1
12 月	1	5								6	24	3	2
合 計	13	28	4	6	2	0	0	0	4	57	232	29	23

2 救助活動状況（前年との比較）

年 及 比	別 出 動 件 数 比 及 救 助 人 員	事 故 種 別									合 計
		火 災	交 通 事 故	水 難	風 自然 水 災害 害 等	機 械 に よる 事 故	建 物 に よる 事 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ の 他 事 故	
平成29年	出動件数（件）	13	28	4	6	2				4	57
	救助人員（人）	3	9	2	8	1					23
平成28年	出動件数（件）	10	29			3	1	1		9	53
	救助人員（人）	2	14			1		2		3	22
前 年 比	出動件数（件）	3	△ 1	4	6	△ 1	△ 1	△ 1	0	△ 5	4
	救助人員（人）	1	△ 5	2	8	0	0	△ 2	0	△ 3	1

(△印は前年より減少)

【予 防】

防火対象物の状況

(平成29年度)

項別防火対象物			防火管理者選任義務対象物(法第8条)				消防用設備等設置対象物(法第17条)			
			消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計
1	イ	劇場・映画館	2	1	1	4	7	1	1	9
	ロ	公会堂・集会場	11	8	4	23	12	9	5	26
2	イ	キャバレー・カフェー	1			1	2			2
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	2	1	6	3	2	1	6
	ハ	性風俗店舗								
	ニ	カラオケボックス等	2	1		3	3	1		4
3	イ	待合・料理店	5			5	5			5
	ロ	飲食店	75	13	12	100	98	19	21	138
4		百貨店・マーケット	92	26	16	134	119	35	29	183
5	イ	旅館・ホテル	14	4	8	26	24	6	14	44
	ロ	寄宿舎・共同住宅	31	22		53	713	362	14	1089
6	イ	病院・診療所	6		2	8	37	9	11	57
	ロ	福祉施設等	12	13	4	29	14	39	5	58
	ハ	ロ以外の福祉施設等	24	13	10	47	56	33	19	108
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	1		5	8	1		9
7		各種学校	14	15	9	38	70	64	21	155
8		図書館・博物館	3	1	2	6	5	1	3	9
9	イ	熱気蒸気等の公衆浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場		1	1	2	1	1	1	3
10		停車場								
11		神社・寺院	21	9	19	49	37	15	33	85
12	イ	工場・作業場	7	33	2	42	151	289	101	541
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫					65	15	12	92
	ロ	飛行機格納庫								
14		倉庫		4		4	190	161	76	427
15		事業所	75	36	26	137	339	215	145	699
16	イ	複合対象物	113	26	15	154	237	47	24	308
	ロ	イ以外の複合対象物	15	3	3	21	114	34	19	167
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		重要文化財			1	1	14	2	5	21
18		延長50m以上のアーケード					5			5
合 計			530	232	136	898	2,329	1,361	560	4,250

建築同意事務 署・分署別件数

(平成29年度)

		新 築	増 築	改 築	そ の 他	計画変更	許可申請	合 計
消 防 署	指 導 あ り	19	4		3	2	1	29
	指 導 な し	32	5			13	2	52
	小 計	51	9		3	15	3	81
東 分 署	指 導 あ り	13	10			2		25
	指 導 な し	7	3	1		1	1	13
	小 計	20	13	1		3	1	38
北 分 署	指 導 あ り	2	1			1		4
	指 導 な し		1			1		2
	小 計	2	2			2		6
合 計	指 導 あ り	34	15		3	5	1	58
	指 導 な し	39	9	1		15	3	67
	小 計	73	24	1	3	20	4	125

建築同意事務業態別棟別件数

(平成29年度)

項		防 火 対 象 物	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計画変更	許可申請	合 計
1	イ	劇 場 等							
	ロ	集 会 所 等		1					1
2	イ	キャバレー等							
	ロ	遊 技 場 等							
	ハ	性風俗店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	料 理 店 等							
	ロ	飲 食 店	2			1			3
4		百 貨 店 等	2			1			3
5	イ	旅 館 等							
	ロ	共 同 住 宅 等	17				2		19
6	イ	病 院 等	2	1					3
	ロ	養護老人ホーム等					2		2
	ハ	軽費老人ホーム等	1	1		1		1	4
	ニ	幼 稚 園 等							
7		学 校 等		1					1
8		図 書 館 等							
9	イ	蒸 気 浴 場 等							
	ロ	一 般 浴 場							
10		車 両 停 車 場							
11		神 社 等	1						1
12	イ	工 場 等	3	7			2		12
	ロ	ス タ ジ オ 等							
13	イ	車 庫 等							
	ロ	特 殊 格 納 庫							
14		倉 庫	1	4					5
15		前 各 項 以 外	11	6	1		3	1	22
16	イ	特 定 複 合	1						1
	ロ	イ 以 外							
17		文 化 財							
18		ア ー ケ ード							
専 用 住 宅 等			32	3			11	2	48
合 計			73	24	1	3	20	4	125

消防用設備等検査状況

(平成29年度)

	消 防 用 設 備 等	着工届出書 (累 計)	設置届出書 (累 計)	完成検査 (累 計)
消 火 設 備	消 火 器		81	89
	屋 内 消 火 栓 設 備	2	6	5
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	7	8	7
	屋 外 消 火 栓 設 備	2	1	1
	水 噴 霧 消 火 設 備			
	泡 消 火 設 備	3	1	
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	1	1	1
	粉 末 消 火 設 備	3	1	2
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備			
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	4	8	9
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	107	131	111
	漏 電 火 災 警 報 器	1	1	
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 ベ ル	19	24	17
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 放 送	6	13	14
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	2	2	2
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	9	10	9
避 難 設 備	避 難 器 具	18	18	18
	誘 導 灯	65	119	75
	誘 導 標 識		43	40
消 防 用 水				
消 必 火 要 活 な 動 設 上 備	連 結 送 水 管			
	連 結 散 水 設 備			
	排 煙 設 備			
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備			
	無 線 通 信 補 助 施 設			
フ ー ド 等 用 簡 易 自 動 消 火 装 置				
開 放 装 置 ・ シ ャ ッ タ ー				2
合 計		249	468	402

危険物施設の状況

(平成29年度)

		製造所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
			屋内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋外	給油	販売	一般	
許 可 施 設 数		17	75	81	4	61	0	36	4	57	2	53	390
数 量 別 数	5倍以下	1	30	9	2	20	0	35	1	4	0	24	126
	5 倍 を 越 え 10 倍 以 下	2	21	8	1	15	0	0	2	5	0	11	65
	10 倍 を 越 え 50 倍 以 下	3	15	29	1	21	0	0	1	16	2	16	104
	50 倍 を 越 え 100 倍 以 下	3	1	19	0	3	0	1	0	7	0	1	35
	100倍を越え 150 倍 以 下	3	7	3	0	1	0	0	0	7	0	0	21
	150倍を越え 200 倍 以 下	1	0	8	0	1	0	0	0	9	0	0	19
	200倍を越え 1,000倍以下	2	1	5	0	0	0	0	0	9	0	1	18
	1,000 倍 を 越えるもの	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
種 別	単	第 1 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第 2 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第 3 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	独	第 4 類	14	70	81	4	61	0	36	4	57	1	53
		第 5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第 6 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	混 在		3	5	0	0	0	0	0	0	1	0	9

危険物申請の状況

(平成29年度)

		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般	
許 可	設 置	2	1	3	0	2	0	0	1	0	0	5	14
	変 更	26	2	16	0	0	0	2	0	9	0	11	66
完 成	設 置	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2	8
	変 更	8	1	13	0	0	0	2	0	8	0	13	45
廃 止		1	0	0	0	2	0	0	0	4	0	1	8

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数

(平成29年度)

製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			仮 貯 蔵	仮 取 扱	合 計
	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般			
13	2	16	0	0	0	0	0	9	0	7	6	0	53

手数料徴収状況

(平成29年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
0	32	264	758	1,892	793	77	0	3,816

(単位:千円)

火災予防条例等各種届出件数

(平成29年度)

	防火対象物使用開始届	炉設置届出書	厨房設備設置届書	温風暖房機設置届出書	ボイラー設置届出書	給湯湯沸設備設置届出書	乾燥設備設置届出書	サウナ設備設置届出書	ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	火花を生ずる設備設置届出書	放電加工機設置届	燃料電池発電機設置届出書	発電設備設置届出書	変電設備設置届出書	蓄電池設備設置届出書	ネオン管灯設備設置届出書	水素ガスを充てんする気球の設置届出書	少量危険物貯蔵取扱届出書	指定可燃物貯蔵取扱届出書	少量危険物等タンク検査申請書	喫煙等の使用申請書	火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出書	椅子席固定免除申請書又は客席避難通路特例適用申請書	露店の開設届出書	火災予防上必要な業務に関する計画書	防火管理者選任（解任）届出書	消防計画作成（変更）届出書	消防訓練通知書	防火対象物点検結果報告書	消防用設備等点検結果報告書	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書	防火管理に関する講習課程修了証明申請書	少量危険物貯蔵取扱廃止届出書	指定可燃物貯蔵取扱廃止届出書	煙火打上げ仕掛け届出書	催物開催届出書	指定洞道等届出書	その他の届出	合 計
消防署	34	2			3	3	8		2					12	1			11	1	1	9	20	34	158		117	138	229	38	513	14	16	9		9	3		10	1,395
東分署	30	3			4	2			1					11	2			5	8		3			103		69	87	155	13	239	21		13	2	8	1		19	799
北分署	7	2				2	17							2	2			1	4					98	1	25	33	80	13	144	3		2		11			6	453
合 計	71	7	0	0	7	7	25	0	2	1	0	0	0	25	5	0	0	17	13	1	12	20	34	359	1	211	258	464	64	896	38	16	24	2	28	4	0	35	2,647

立入検査実施状況

(平成29年度)

種 別	実 施 日	実 施 数
指定文化財立入検査	随時	24
防火対象物立入検査	随時	238

防火指導状況

(平成29年度)

対 象	事 業 内 容	実 施 日	実 施 状 況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	8/22～8/29 11/9～11/15 3/1～3/7	76+257+196 529人
	高齢者大学 防火研修会	10月5日	120人
自治会等	安心安全講座	随時	39回 1818人
防火対象物	消防訓練指導	141回	8,400人
	乙種防火管理講習(新規)	11月15日	年1回 6名
	甲種防火管理講習(新規)	8月3.4 11月16.17	年2回 122名
	甲種防火管理講習(再講習)	7月7日	年1回 13名
その他	消防署見学	随時	2,290人
	起震車体験会	9/4～9/15	967人

(平成29年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座	7/16 初級 7/23 初級・中級	180人
------	--------------	-----------------------	------

広報活動状況

(平成29年度)

広 報 活 動 内 容	回数
1 巡回広報	25
2 街頭広報	1
3 有線利用による広報	0
4 報道機関への情報提供	6
5 固定放送設備による広報	6
6 ホームページによる広報	2

※主な広報 毎月1日『防火の日』の広報、乾燥時期の広報、夏休み事故防止の広報、年末特別火災予防広報、消火器に関する広報、各種運動期間中の広報など。

幼年消防クラブ活動状況

◎目的

幼児に消防研修を行うことにより、防火に対する正しい知識を身につけ、各幼稚園、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を育成することを目的とする。

	クラブ数	クラブ員
保 育 園	29	2,503
幼 稚 園	4	461
そ の 他	3	52

◎平成29年度実施事業

実 施 事 業	内 容
幼年消防クラブ総会及び指導者研修会 第1回指導者研修会	普通救命講習Ⅲ
巡回防火教室	(消防訓練を含む) 防災ダック、防火の話
起震車体験会、/福知山消防出初式	地震体験、災害の話/防火・防災パレード
第2回指導者研修会	防火防災研修

福知山市防災センター来館者状況

(平成29年度)

合計	防災センター	防災広場のみ
9,888	8,952	936

【通信指令課】

覚知別集計

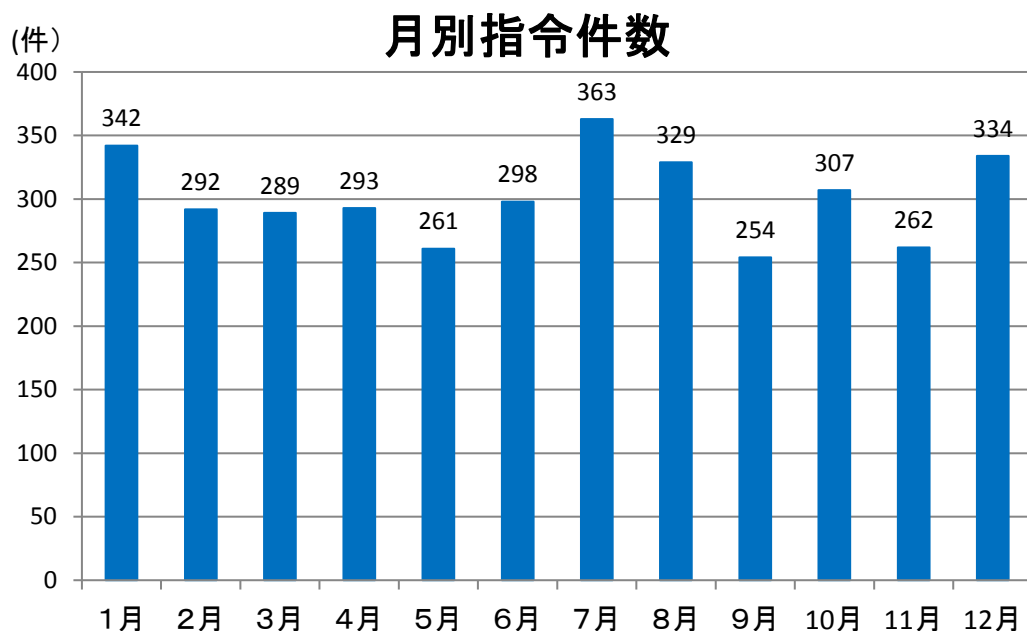
(平成29年中)

	災 害 区 分	当 年 件 数	119一般	119携帯	119 I P	加 入 電 話	福祉電話FAX	駆 け 付 け	自 己 覚 知	事 後 聞 知	そ の 他
火 災	一般建物	18	2	10		1				5	
	中高層	0									
	特別対象物	0									
	車 両	7	1	4	1	1					
	林 野	3		1		1				1	
	そ の 他	14	1	7		1				4	1
	小 計	42	4	22	1	4	0	0	0	10	1
救 急	火 災	0									
	自然災害	0									
	水 難	2	1	1							
	交 通	206	17	158	13	17					1
	労働災害	26	4	11	5	6					
	運動競技	23	4	13	3	3					
	一般負傷	524	175	189	128	31		1			
	加 害	12	1	6	1	4					
	自 損	26	3	13	1	9					
	急 病	2,346	761	820	629	128		6			2
	転院搬送	272	46	5	27	194					
	医師搬送	0									
	資材搬送	0									
	そ の 他	25	10	7		8					
	小 計	3,462	1,022	1,223	807	400	0	7	0	0	3
救 助	火 災	0									
	交通事故	29	2	18	6	3					
	水難事故	4	2	1		1					
	自然災害	6	1		1	4					
	機械事故	1		1							
	建物事故	0									
	ガス・酸欠	0									
	そ の 他	4		2	1	1					
	小 計	44	5	22	8	9	0	0	0	0	0
警 戒	自火報発報	14	4	5		5					
	怪煙調査	24		8	2	12		1	1		
	油 漏 れ	9		3		5					1
	ガス漏れ	0									
	自然災害	6				6					
	異臭調査	0									
	そ の 他	23	6	8	3	6					
	小 計	76	10	24	5	34	0	1	1	0	1
そ の 他	病院紹介	26	5	19	2						
	問い合わせ	247	52	120	75						
	誤 報	30	18	8	4						
	いたずら	307	6	297	4						
	119試験	341	193	53	95						
	通報訓練	361	192	25	144						
	重 複	154	45	87	22						
	まちがい	195	74	91	30						
	取り消し	65	15	30	20						
	そ の 他	887	157	396	333						1
	小 計	2,613	757	1,126	729	0	0	0	0	0	1
転 送	舞鶴転送	1				1					
	綾部転送	12	1	11							
	中部転送	1		1							
	宮津転送	0									
	丹波転送	2		2							
	豊岡転送	3		3							
	南但転送	1		1							
	篠山転送	0									
	小 計	20	1	18	0	1	0	0	0	0	0
合 計		6,257	1,799	2,435	1,550	448	0	8	1	10	6

月別指令状況

(平成29年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	5	0	7	5	9	4	4	1	3	1	1	2	42
救急	327	285	271	280	239	283	347	320	241	292	253	324	3,462
救助	4	4	4	3	5	4	4	2	2	5	2	5	44
警戒	6	3	7	5	8	7	8	6	8	9	6	3	76
合計	342	292	289	293	261	298	363	329	254	307	262	334	3,624



ドクターヘリ要請件数

(平成29年中)

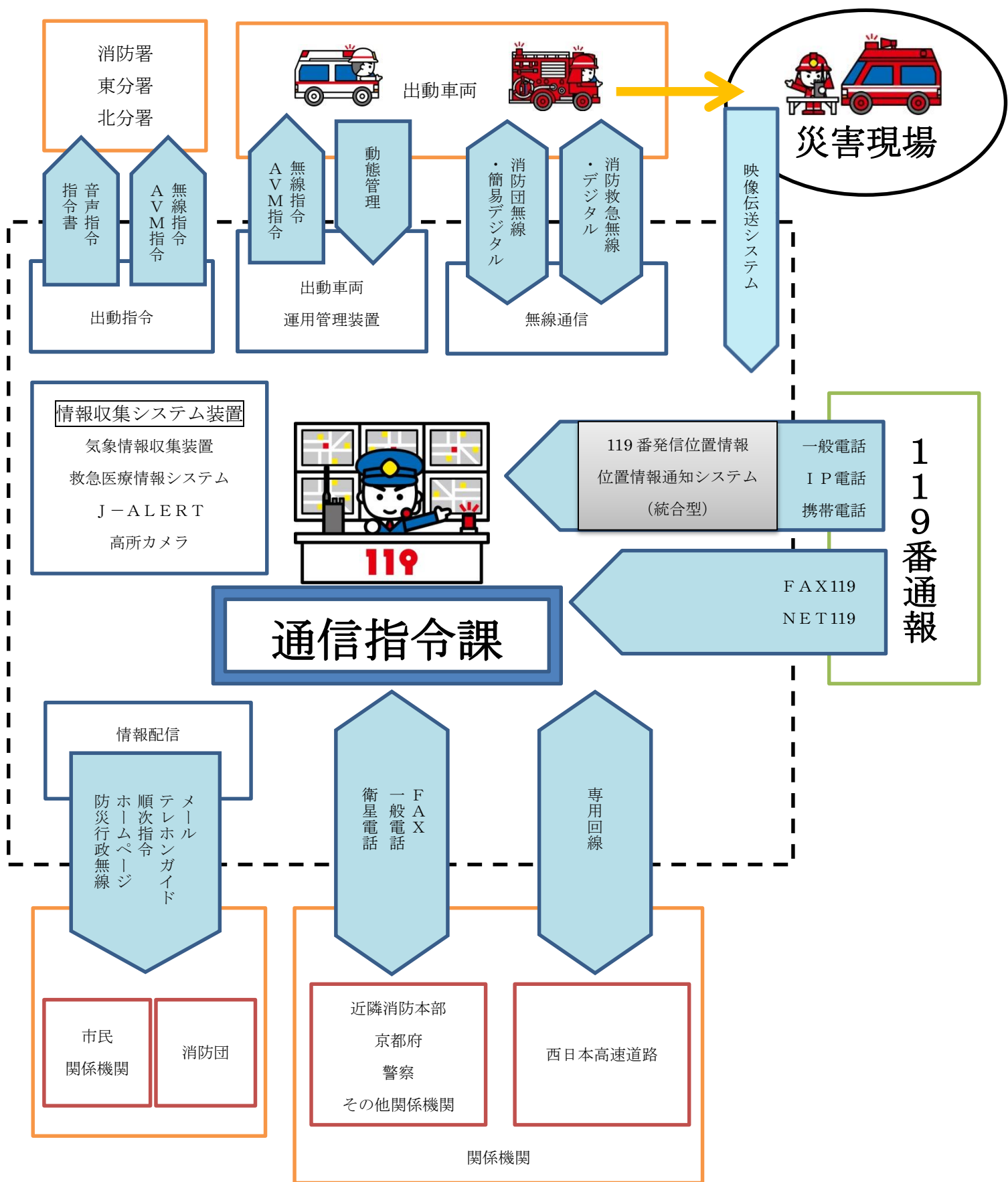
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	2	3	3	0	6	3	3	1	0	0	0	3	24

消防通信施設の現況

(平成30年4月1日)

名称	数	備考
通報受付回線		
119番回線数（固定・IP）	2回線	I S D N回線 計4 C H
119番回線数（携帯）	2回線	I S D N回線 計2 C H
衛星回線（119迂回回線）	2回線	
I P－V P N回線	2回線	位置情報通知システム用
携帯転送用	1回線	I S D N回線
西日本高速道路（舞鶴若狭自動車道）	1回線	専用回線
情報連絡回線		
順次指令回線	3回線	アナログ回線 I S D N回線 計3回線
災害状況等自動案内	6回線	
携帯電話	12台	
消防救急無線		
基地局	4局	烏ヶ岳基地局、三和基地局、夜久野基地局 三岳基地局
使用無線波（デジタル無線）	6波	活動波1・2 主運用波 統制波1・2・3
消防団無線		
基地局・中継局	5局	消防防災センター基地局、三和基地局、夜久野基地局 大江基地局、夜久野中継局（簡易デジタル無線）
指令システム主要装置		
指令台	2台	
指揮台	1台	
表示盤	1式	55インチ液晶ディスプレイ 12面
無線統制台	1台	
署所施設	3式	署所端末、指令情報出力装置及び署所端末用受令機
気象情報収集装置	1式	
災害状況等自動案内	1台	
順次指令装置	1式	
出動車両運用管理装置 （1）経路検索装置 （2）車両運用端末装置	1式 20式	車外設定端末装置は10式
位置情報通知システム	1式	統合型
W e b 119受信装置	1式	
F A X 119受信装置	1式	
高所監視カメラ	2式	
映像伝送システム	1式	車載2 可搬3 ハンディ3
Eメール指令装置	1式	
ホームページ	1式	
情報共有表示盤	7式	50インチ液晶ディスプレイ
消防O A	14台	W e bサーバ方式
防災行政無線等集中制御装置	1式	防災行政無線接続・連動用
総合行政情報システム接続装置	1式	
その他のシステム		
防災行政無線	1式	遠隔制御卓・可搬型
京都府医療情報端末装置	1式	タブレット端末
京都府衛星電話	1台	
J－A L E R T	1式	

消防通信指令系統図



【消防団】

消防団の沿革

(平成 30 年 4 月 1 日)

○昭和 22 年 11 月 1 日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6 分団（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉） 団員 697 名、ポンプ車 6 台、手引ガソリンポンプ 12 台
○昭和 23 年 8 月 12 日	団長 石坪一久 就任
○昭和 24 年 4 月 1 日	3 村合併（西中筋村・下川口村・上豊富村）により 9 分団となり、消防団定員 1,000 人、実員 1,123 人となる。 ポンプ車 5 台、ガソリンポンプ 21 台、腕用ポンプ 45 台の消防力となる
〃 10 月 1 日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団定員 1,000 人、実員 1,053 人
○昭和 30 年 4 月 1 日	8 村合併（上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村）により、分団数 16、消防団員定数及び実員 1,850 人、ポンプ車 7 台、手引ポンプ 45 台、可搬動力ポンプ 18 台、腕用ポンプ 60 台の消防力となる
〃 4 月 6 日	団長 足立秀夫 就任
〃 9 月 30 日	上豊富分団が京都府知事表彰調査を受検し、12 月 22 日に表彰旗を授与された
○昭和 31 年 9 月 30 日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人 【消防団の勢力】17 分団、定員 1,780 人、実員 1,775 人 ポンプ車 8 台、手引ポンプ 43 台、可搬ポンプ 23 台、腕用ポンプ 60 台
○昭和 33 年 3 月 7 日	自治体消防発足 10 周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7 月 1 日	団長 藤原定治 就任
○昭和 35 年 11 月 20 日	上川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 37 年 1 月 6 日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4 月 8 日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和 38 年 4 月 1 日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和 40 年 10 月 1 日	消防団員条例定数 1,400 人、実員 1,388 人
○昭和 42 年 4 月 1 日	団長 芦田太郎 就任
○昭和 44 年 4 月 1 日	【消防団の勢力】17 分団、定員 1,400 人、実員 1,359 人 消防ポンプ自動車 9 台、手引ポンプ 8 台、小型動力ポンプ 65 台
○昭和 45 年 7 月 3 日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始 西中分団、修斉分団、上六分団へ各 1 台配置
〃 10 月 5 日	下川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 46 年 11 月 1 日	下川婦人消防隊結成、隊員 47 名
○昭和 48 年 4 月 1 日	団長 森下文男 就任

○昭和 51 年 4 月 1 日	団長 大槻増次 就任
〃 6 月 14 日	消防団本部を市役所庁舎へ移す（住所 福知山市字内記 13 番地の 1）
○昭和 53 年 8 月 22 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める
○昭和 54 年 3 月 5 日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀である
〃 4 月 1 日	という理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された 福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける
○昭和 55 年 11 月 9 日	庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日に表彰旗を授与された
○昭和 56 年 4 月 1 日	団長 高橋昭治 就任
○昭和 57 年 10 月 31 日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 58 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 60 年 5 月 30 日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける
〃 8 月 8 日	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置
〃 10 月 6 日	消防庁長官表彰を受検 於 市民第 2 グラウンド
	人 員 消防職員 85 名
	消防団員 1,348 名
	婦人消防隊 40 名
車 両	ポンプ車 10 台
	積載車 36 台
	小型動力ポンプ 34 台
○昭和 61 年 3 月	消防庁長官表彰受賞
〃 5 月 1 日	団長 吉竹 孝一郎 就任
〃 9 月 28 日	雀部分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 62 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○昭和 62 年 10 月 1 日	下六分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 63 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○昭和 63 年 10 月 13 日	京都国体警備。内福知山市分 16～19 日
〃 10 月 26 日	金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）出場
〃 10 月 30 日	大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 64 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された
○平成 元年 10 月 15 日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 2 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 2 年 5 月 1 日	団長 関 宏躬 就任
〃 10 月 21 日	修斉分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 3 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 3 年 4 月 1 日	消防団員条例定数 1,250 人、実員 1,214 人となる
〃 10 月 13 日	三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 4 年 1 月 1 日表彰旗が授与された

○平成 5 年 8 月 31 日 " 11 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第 6 位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 5 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 5 年 10 月 31 日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 6 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 6 年 5 月 1 日 " 8 月 30 日 " 10 月 30 日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 7 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 7 年 11 月 12 日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 8 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 8 年 7 月 1 日 " 7 月 25 日 " 10 月 13 日	消防団員アルミックス防火衣を 129 着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 9 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
○平成 9 年 9 月 1 日 " 10 月 12 日	消防団員アルミックス防火衣を 185 着分支給 市制 60 周年（団発足 50 周年）記念事業（消防フェア福知山）開催
○平成 10 年 8 月 7 日 " 12 月 10 日 ~21 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11 年 7 月 1 日 " 9 月 9 日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12 年 5 月 1 日 " 8 月 6 日 " 11 月 23 日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第 5 位の成績を収める アポロキャップを購入し、全団員に貸与
○平成 13 年 10 月 1 日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊 17 人、福知山消防ファイヤーガード隊 13 人で発足
○平成 14 年 1 月 24 日 " 5 月 1 日 " 8 月 4 日 " 10 月 27 日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」京都府知事を表敬訪問 団長 野田和則 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場 京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成 15 年 2 月 2 日に表彰旗が授与された
○平成 15 年 11 月 20 日	自治体消防 55 周年記念大会参加
○平成 16 年 5 月 1 日 " 8 月 1 日	団長 岸田正一 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成 18 年 1 月 1 日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる
	【消防団の勢力】

	団 長 岸田正一 団本部ほか 29 分団、定員 2,160 人、実員 2,065 人 消防ポンプ自動車 12 台 小型動力ポンプ付積載車 11 台 小型動力ポンプ付軽積載車 77 台 小型動力ポンプ 89 台
○平成 18 年 8 月 6 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成 19 年 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成 20 年 4 月 1 日	団長 足立秀幸 就任
〃 7 月 27 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成 22 年 4 月 1 日	団長 山田浩和 就任
〃 7 月 1 日	三和支所、夜久野支所、大江支所に支所消防隊を設置
〃 8 月 1 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場
〃 9 月 18 日	総務省消防庁より雲原分団に救助資機材搭載型車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
○平成 24 年 3 月 21 日	「新 福知山市消防団活性化計画」を策定
〃 5 月 1 日	消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1「福知山市消防防災センター」に移す
〃 8 月 5 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部及び小型ポンプの部に、大正分団が出場
○平成 25 年 4 月 1 日	金山分団及び川合分団に機能別消防団員が発足
〃 10 月 20 日	細見分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 26 年 1 月 1 日表彰旗が授与された
〃 11 月 25 日	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
○平成 26 年 2 月 9 日	京都府知事から、消防団 120 年・自治体消防制度 65 周年記念知事表彰が授与された
〃 2 月 15 日	総務省消防庁より河守分団に消防ポンプ付き軽自動車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
〃 3 月 4 日	総務省消防庁より消防団拠点資材等セト一式の無償貸与を受ける
〃 4 月 1 日	団長 塩見辰也 就任
〃 8 月 3 日	三岳分団に機能別消防団員が発足 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団、小型ポンプの部に河守上分団が出場し、上川分団が第 3 位の成績を収める
○平成 27 年 4 月 1 日	消防団簡易デジタル無線運用開始
〃 11 月 25 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
○平成 28 年 4 月 1 日	団長 片岡幸基 就任
〃 7 月 31 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に細見分団、小型ポンプの部に佐賀分団が出場
〃 9 月 12 日	平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された
○平成 29 年 10 月 21 日	ふくちやまファイヤーエンジェルズが、京都府知事から京都府あけぼの賞を授与された
〃 12 月 5 日	公益財団法人日本消防協会より消防団防災学習・災害活動車両の寄贈を受ける

○平成 30 年 2 月 8 日	平成 29 年 10 月台風 21 号時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
○平成 30 年 4 月 1 日	団長 池澤 徹 就任

消防団員・消防団車両配置表

(平成30年4月1日)

		人 員											車両等				
ブ ロ ッ ク	分 団 名	合 計	団 長	※副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 長	指 導 部 長	本 部 班 長	部 長	班 長	団 員	ポン プ 車	積 載 車	軽 積 載 車	その 他 の 車 両	小 型 ポン プ
団本部		7	1	6												1	
ファイヤー エンジェルス	ファイヤーガード隊	8									1	6					
	カラーガード隊	9									1	8					
中部	中央	73		1	1	1	1	1	2	6	12	49		6			
	大正	41			1	1	1	1	1	3	6	27		3			
	庵我	73			1	1	1	1	1	3	7	58		3			
	修斉	92			1	1	1	1	1	4	11	72		4	1		
	上豊	95			1	1	1	1	1	2	6	82		3			
東部	雀部	54		1	1	1	1	1	1	3	3	43		3			
	西中	82			1	1	1	1	1	5	5	67		4	1		
	上六	49			1	1	1	1	1	3	6	35		3			
	中六	51			1	1	1	1	1	2	6	38		2			
	下六	68			1	1	1	1	1	5	5	53		4	1		
北部	佐賀	46		1	1	1	1	1	1	2	4	35		2			
	下川	40			1	1	1	1	1	2	6	27		2			
	上川	57			1	1	1	1	1	2	6	44		3			
	金谷	56			1	1	1	1	1	2	6	43		2			
	三岳	39			1	1	1	1	1	2	4	28		2			
三和	機能別消防団	14		1								14					
	金山	39			1	1	1	1	1	3	6	25		3			
	機能別消防団	22										22					
	雲原	40			1	1	1	1	1	2	3	30		2			
	菟原	82			1	1	1	1	1	4	4	69		4			
夜久野	細見	81		1	1	1	1	1	1	5	6	65		5			
	川合	25			1	1	1	1	1	3	3	14		3			
	機能別消防団	16										16					
	三和支所消防隊	6										6		1			
	上夜久野	72			1	1	1	1	1	4	9	54	1	4	1		
大江	中夜久野	47		1	1	1	1	1	1	3	6	33		3			1
	下夜久野	53			1	1	1	1	1	3	6	39		3			
	夜久野支所消防隊	6										6					
	河守	79			1	1	1	1	1	4	10	60		2	2		
	河守上	55			1	1	1	1	1	3	6	41		1	2		
大江	河西	40		1	1	1	1	1	1	2	4	29		1	1		
	河東	47			1	1	1	1	1	2	6	34		1	1		
	有路上	52			1	1	1	1	1	3	4	40		2			
	有路下	43			1	1	1	1	1	2	5	31		1	1		
	大江支所消防隊	9										9		1			
合計		1,768	1	6	29	29	29	29	30	90	173	1,352	1	83	11	1	1

※ 団本部の副団長は、各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(平成30年4月1日)

年齢別	合 計	平均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,768	41.8	1	128	547	820	220	52

在職年数別消防団員数

(平成30年4月1日)

年数別	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,768	363	336	396	279	230	93	71

【水 防】

水防の概要

第1 市域を流れる河川

市域を流れる河川で、国、府および市が管理する河川（普通河川）は次のとおりです。

(平成24年4月1日現在)		
国が管轄するもの（1級河川）	2河川	旧夜久野 78河川
府が管轄するもの（1級河川）	49河川	旧大江 64河川
市が管轄するもの（準用、普通河川）	379河川	旧三和 91河川
延	430河川	旧福知山 146河川
		延 379河川

第2 由良川水系の現況

由良川は、京都、滋賀および福井の府県境三国ヶ岳に源を発し、北桑田の山間部、福知山を経て日本海に注ぐ河川で、高屋川、上林川および土師川と合流し、その流域面積は京都府と兵庫県にまたがり、1,880 km²におよびます。由良川水系の治水と利用についての意義は、丹波と丹後地区においてきわめて大きくなっています。

第3 現状の課題と方針

由良川の改修事業は、昭和22年に国の直轄事業として着手されて以来進められ、平成16年の台風23号を契機とした「由良川下流部緊急水防災対策事業」が平成27年度末に完了する一方、平成25年の台風18号を契機とした「由良川緊急治水対策事業」や平成26年の8月豪雨をふまえた「総合的な治水対策」の早期実施による、水害に強い地域づくりの更なる推進が課題となっています。

特に「総合的な治水対策」として国土交通省、京都府および福知山市が設立した「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」では、内水氾濫の被害をふまえ河川管理者と下水道管理者が一体となって総合的な治水対策案を取りまとめ、平成27年度に内水ハザードマップの作成（福知山市）を完了するとともに、今後も引き続き排水機場の整備や排水ポンプ車ピット新設（国土交通省）、調節地の整備や河川改修（京都府）、雨水貯留施設の整備や各家庭への貯留浸透施設の設置促進など、各機関が連携して総合内水対策を実施することとしています。

第4 水害の特徴

福知山市における水害として、由良川などの破堤や溢流による外水氾濫と、由良川などへの内水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。

福知山市が位置する福知山盆地の標高は非常に低く、由良川と牧川の合流点付近では標高12mに過ぎません。したがって、由良川などの堤防が決壊した場合には、市街

地全域にわたる広い範囲で外水による浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため人的被害および建物被害などが生じる危険性が高く、さらに水位が低下するまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大と長期化が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や周りから水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地および旧河道などです。このような地形では、雨水が集まりやすく水害の危険性は高くなります。

第5 近年の水害の記録

平成16年の台風23号では、総雨量279mm由良川水位も最高水位 7 m55cmを記録、さらに平成25年の台風18号では、総雨量216mm、由良川最高水位 8 m30cmを記録、由良川流域の広範囲において浸水し、家屋、耕地および主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

平成26年8月16日から17日にかけて局地的な大雨に見舞われ、福知山市で24時間雨量が300mmを超え、平年の8月の1か月雨量の約2.5倍に達し、由良川では一時的に氾濫危険水位を超過しました。また、内水氾濫により市街地を中心に広い範囲で冠水し、約4,500戸（平成27年3月20日時点）が浸水するとともに、土砂災害も多く発生しました。福知山市は、市の全域約8万人に避難勧告を発表し、陸上自衛隊も救援に出動しました。さらにこの大雨によって、JR福知山線と山陰線が寸断されるなど、社会的影響度も非常に大きなものとなりました。

昨年の台風21号では、総雨量200mm由良川水位も最高水位 7 m39cmを記録、道路の冠水により由良川流域の一部地域が一時的に孤立するなど、甚大な被害が生じました。

【主な水害の記録】

明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m	死傷者 200 名	
	倒壊流失家屋 371 戸		
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m	倒壊流失家屋 350 戸	
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m	死傷者 7 名	
	倒壊流失家屋 67 戸	浸水家屋 3,058 戸	
昭和 5 年 8 月 1 日	水 位 7.12m		
	倒壊流失家屋 30 戸	浸水家屋 3,006 戸	
昭和 20 年 10 月 9 日 (阿久根台風)	水 位 6.00m	死傷者 5 名	総雨量 95.0mm
	倒壊流失家屋 111 戸	浸水家屋 5,083 戸	
昭和 28 年 9 月 25 日 (台風 13 号)	水 位 8.10m	死傷者 792 名	総雨量 254.3mm
	倒壊流失家屋 1,664 戸	浸水家屋 3,836 戸	

昭和 34 年 9 月 26 日 (伊勢湾台風)	水 位 7.10m 負傷者 26 名 総雨量 243.0mm 倒壊流失家屋 113 戸 浸水家屋 5,117 戸
昭和 36 年 9 月 16 日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm 死傷者 9 名 倒壊家屋 76 戸 浸水家屋 19 戸
平成 16 年 10 月 20 日 ~21 日 (台風 23 号)	水 位 7.55m 総雨量 279.0mm 倒壊家屋 (半壊、一部損壊) 63 戸 浸水家屋 844 戸
平成 25 年 9 月 16 日 (台風 18 号)	水 位 8.30m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊、一部損壊) 332 戸 浸水家屋 423 戸
平成 26 年 8 月 16 日 ~17 日 (8 月豪雨)	水 位 6.48m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋 (全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊) 4,253 戸 浸水家屋 4,500 戸 死者 1 名 負傷者 1 名 【雨量・水位記録】 ■降り始めの 8 月 15 日 2 時から 17 日 24 時までの降水量 357.5mm ■日最大 1 時間降水量 17 日 午前 4 時 30 分 62.0mm ■解析雨量 17 日 午前 2 時 30 分 92.0mm ■1 時間降水量が 8 月として 1 位を更新 (統計期間 10 年以上) 17 日 午前 4 時 30 分 62.0mm 統計開始 1976 年 ■24 時間降水量が 8 月として 1 位を更新 (統計期間 10 年以上) 17 日 午前 5 時 50 分 303.5mm 統計開始 1976 年 ■48 時間降水量が 8 月として 1 位を更新 (統計期間 10 年以上) 17 日 午後 7 時 50 分 341.0mm 統計開始 1976 年

水防組織

第1 水防本部の組織

- 1 水防本部は、市長を本部長、副市長を副本部長とし、組織は福知山市災害対策本部規程を準用し、水防本部組織図のとおりとする。
- 2 消防部は、消防本部および消防団本部をもって指揮班、消防署および消防団をもって消防（水防）班を編成し、各分団は水防中隊とする。

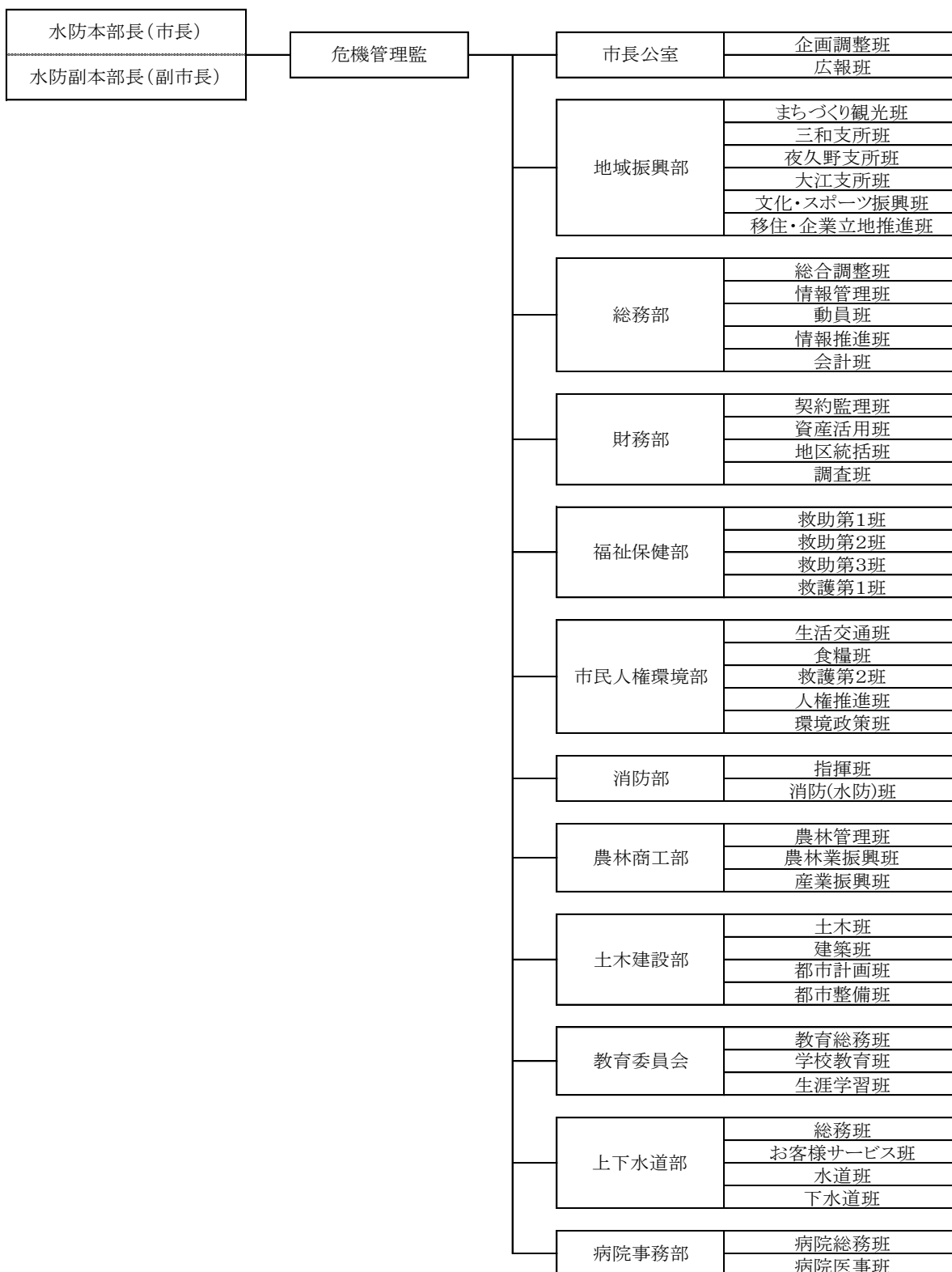
3 指揮班の任務

- （1）災害の予防対策
- （2）災害情報の収集
- （3）災害信号の発令および周知
- （4）被害状況の速報
- （5）市防災無線の運用
- （6）災害の場合における消防団活動の調整および指示

4 消防（水防）班の任務

- （1）災害の場合における消防団活動の調整および指示
- （2）避難者の誘導
- （3）人命および財産の保護
- （4）不明者の搜索
- （5）水防作業員資材および避難者の輸送運搬
- （6）水防資材の整備および調査
- （7）消防資材および施設の整備点検

(平成30年 3 月31日現在)



平成 29 年版 消 防 年 報

〒620-0933 京都府福知山市東羽合町 46 番地の 1
福知山市消防本部

TEL 0773-24-0119 / FAX 0773-22-5458

URL <http://119.city.fukuchiyama.kyoto.jp/>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.lg.jp

携帯サイト <http://119.city.fukuchiyama.kyoto.jp/m/>

携帯サイト
QR コード

